

# マニュアルの使いかた

## 安心してお使いいただくために

- パソコンをお取り扱いいただくための注意事項  
ご使用前に必ずお読みください。

## 取扱説明書（本書）

- パソコンの準備
- 各部の名前
- 電源の入れかた
- Windowsのセットアップ
- 電源の切りかた
- システム環境の変更とは
- 初期状態に戻す（リカバリー）
- Q&A集（電源が入らないとき）
- 廃棄／譲渡  
など

## オンラインマニュアル

Windowsが起動しているときにパソコンの画面上で見るマニュアルです。

- パソコンを買い替えたとき
- パソコンの基本操作
- ネットワーク機能
- 周辺機器の接続
- バッテリー駆動で使う方法
- システム環境の変更
- パソコンの動作がおかしいとき／Q&A集  
など

## リリース情報

- 本製品を使用するうえでの注意事項など  
必ずお読みください。

**参照** ▶ 「はじめに - 7 リリース情報について」

# もくじ

マニュアルの使いかた .....	1
もくじ .....	2
はじめに .....	5

## 1章 パソコンの取り扱い ..... 13

<b>1</b> 使う前に確認する .....	14
<b>2</b> パソコン本体のモードについて .....	16
<b>3</b> 各部の名称 - 外観図 - .....	20
<b>1</b> 前面図 .....	20
<b>2</b> 背面図 .....	22
<b>3</b> 裏面図 .....	23
<b>4</b> Windows を使えるようにする .....	24
<b>1</b> Windows セットアップ .....	24
<b>5</b> Windows 8 について .....	35
<b>1</b> 画面の切り替えについて .....	35
<b>2</b> チャームとアプリケーションの切り替えについて .....	36
<b>6</b> 電源を切る／入れる .....	41
<b>1</b> 電源を切る .....	41
<b>2</b> 電源を入れる .....	44
<b>7</b> 画面で見るマニュアル .....	46

## 2章 システム環境の変更 ..... 47

- 1** システム環境の変更とは ..... 48
- 2** BIOS セットアップを使う ..... 49
  - 1** 起動と終了/BIOS セットアップの操作 ..... 49
- 3** パソコンの動作状況を監視し、記録する  
—東芝PCヘルスマニター— ..... 52
  - 1** 東芝PCヘルスマニタを起動する ..... 53
  - 2** メッセージが表示された場合 ..... 54

## 3章 買ったときの状態に戻すには —リカバリー— ..... 57

- 1** パソコンを初期状態に戻すために  
—リカバリーとは— ..... 58
  - 1** パソコンを初期状態に戻す前に確認すること ..... 59
  - 2** パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと ..... 60
- 2** パソコンを初期状態に戻す —リカバリー— ..... 62
  - 1** いくつかある初期状態に戻す方法 ..... 62
  - 2** SSDからパソコンを初期状態に戻す ..... 62
  - 3** リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す ..... 64
- 3** パソコンを初期状態に戻したあとは ..... 67
  - 1** バックアップしておいたデータを復元する ..... 67
- 4** プレインストールのアプリケーションを  
再インストールする ..... 68

## 4章 困ったときは ..... 69

<b>1</b> Q&A集 .....	70
<b>1</b> 電源を入れるとき／切るとき .....	71
<b>2</b> 画面／表示 .....	74
<b>3</b> システム／SSD .....	75
<b>4</b> タッチパネル .....	76
<b>5</b> メッセージ .....	76
<b>6</b> その他 .....	79
<b>2</b> 捨てるとき／人に譲るとき .....	81

## 付録 ..... 85

<b>1</b> ご使用にあたってのお願い .....	86
<b>2</b> お問い合わせ先 - OS／アプリケーション- .....	88
<b>1</b> OSのお問い合わせ先 .....	88
<b>2</b> アプリケーションのお問い合わせ先 .....	89
<b>3</b> 技術基準適合について .....	92
<b>4</b> 無線LAN／Bluetoothについて .....	94
リカバリーチェックシート .....	108
<b>1</b> パソコンを初期状態に戻す前に確認すること .....	108
<b>2</b> パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと .....	108
<b>3</b> パソコンを初期状態に戻す流れ .....	108








# はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。

本書や『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

## 1 記号の意味

 <b>危険</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 <b>警告</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 <b>注意</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。
 <b>お願い</b>	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 <b>メモ</b>	知っていると便利な内容を示します。
 <b>役立つ操作集</b>	知っていると役に立つ操作を示します。
 <b>参照</b>	参照先を示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 本書内への参照の場合…「 」</li><li>● ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合…『 』</li></ul>

\*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

\*2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど（高温・低温）、感電などをさします。

\*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

## 2 用語について

本書では、次のように定義します。

### システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

### アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

### Windows または Windows 8

Windows 8 Pro を示します。

### MS-IME

Microsoft IME を示します。

### SSD

本製品には、補助記憶装置として、フラッシュメモリを記憶媒体とするドライブが搭載されています。SSD（ソリッドステートドライブ）とは、ハードディスクの記憶媒体である磁気ディスクの代わりに、NANDフラッシュメモリを使用した大容量記憶媒体です。

SSDの補助記憶装置としての機能は、ハードディスクドライブと同等です。

なお、本書において「ハードディスク」または「ハードディスクドライブ」と記載されている場合は、SSDを示します（「外付けハードディスクドライブ」は除く）。

### Office搭載モデル

Microsoft Office Personal 2013またはMicrosoft Office Home and Business 2013をプレインストールしているモデルを示します。

### Bluetooth機能搭載モデル


Bluetooth機能を搭載しているモデルを示します。

ご購入のモデルのシリーズ名、モデル名、仕様については、『dynabook \*\*\*\*（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

### 3 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「\*\*\*\*モデルの場合」や「\*\*\*\*シリーズのみ」などのように注記します。
- インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは本体のSSDや付属のCD/DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書では、コントロールパネルの操作方法について、表示方法を「カテゴリ」に設定していることを前提に説明しています。  
画面右上の「表示方法」が「大きいアイコン」または「小さいアイコン」になっている場合は、「カテゴリ」に切り替えてから操作説明を確認してください。
- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書は、語尾をのぼすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。  
画面の表示と異なる場合がありますが、読み替えてご使用ください。

### 4 Trademarks

- Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは、マイクロソフト企業グループの商標です。  
その他記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- Intel、インテル、インテル Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標、または登録商標です。
- McAfee、マカフィーは、米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
- SD ロゴは商標です。(  )
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標ならびに登録商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスター および ウイルスバスタークラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/Hi-フィルターはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- Bluetooth は、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

## 5 プロセッサ (CPU) に関するご注意

本製品に使用されているプロセッサ (CPU) の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- ACアダプターを接続せずバッテリー駆動にて本製品を使用する場合
- マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト (たとえば、運用に高性能コンピューターが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト) を本製品上で使用する場合
- 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合  
目安として、標高1,000メートル (3,280フィート) 以上をお考えください。
- 目安として、気温5~30℃ (高所の場合25℃) の範囲を超えるような外気温の状態では本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。

また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。

これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

本製品には64ビットプロセッサが搭載されております。64ビット版OSでご使用の場合は、32ビット版のデバイスドライバーやアプリケーションが正しく動作しない場合があります。


## 6 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製 (データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

## 7 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。

必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

- ① スタート画面のタイルのない部分で、右クリックする
- ② [すべてのアプリ] をクリックする
- ③ [はじめに] の [  リリース情報 ] をクリックする



## 8 お願い

- 本体のSSDにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows標準のシステムツール以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 本体のSSDにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。有料にてパスワードを解除します。HDDパスワード（本製品の場合、SSDに対してパスワードが設定されています）を忘れてしまった場合は、SSDは永久に使用できなくなり、交換対応となります。この場合も有料です。またどちらの場合も、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- 本製品のセキュリティロック・スロットおよび接続するセキュリティーケーブルは盗難を抑止するためのものであり、万が一発生した盗難事故の被害について、当社はいっさいの責任を負いません。
- 「ウイルスバスター」を使用している場合、ウイルス定義ファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態で使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスター」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。ウイルスチェックが全く行われないう状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と『ソフトウェアに関する注意事項』、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 『東芝保証書』は、記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

**参照** ▶ お客様登録について『オンラインマニュアル』

## 9 ユーザーアカウント制御 画面について

操作の途中で「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、画面の指示に従って操作してください。パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

## 10 環境依存文字について

環境依存文字とは、入力した文字を漢字へ変換するときに表示される候補の右側に「環境依存」などと表示されるものです。



(表示例)

ユーザーアカウント名やフォルダー名に環境依存文字が含まれていると、ファイルの読み込みや保存などが正常に動作しないことがあります。

ファイル名やファイル内の文字列に環境依存文字が含まれていると、ファイル名が「？」などのように正しく表示されず、正常に動作しないことがあります。

また、アプリケーション上でファイルの編集集中に入力した文字列に環境依存文字が含まれていると、作成したファイル上で正しく表示されないことがあります。

このような場合には、環境依存文字を含まない文字列に変更してください。

CD/DVDなどの記録メディアにデータを書き込むときは、環境依存文字が含まれていないことをあらかじめ確認してから作業を行ってください。

## 11 操作の読み替えについて

本書では、代表的な操作例として、タッチパッドやマウスを使った操作（「クリック」／「ダブルクリック」など）手順を記載していますが、画面にタッチして操作することもできます。

タッチ操作を行う場合は、タッチパッドやマウスの操作の部分、次のように読み替えてください。

- クリック → タップ
- ダブルクリック → ダブルタップ
- 右クリック → 長押し（ロングタップ）

アイコンなどの上に指を数秒置いて、はなします。

※一部例外があります。タッチ操作の詳細は、市販の説明書をご覧ください。

**参照** 操作の詳細について『オンラインマニュアル 2章 3 タッチパッド/タッチ操作』

## 12 データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。

バックアップとはSSDやソフトウェアの故障などでファイルが使用できなくなったときのために、あらかじめファイルを記録メディアなどにコピーしておくことです。

本製品は次のような場合、スリープ、休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 長期間使っていなかったために、バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）の充電量がなくなったとき
- 故障、修理、バッテリー交換のとき

記憶内容の変化／消失については、SSDや記録メディアなどに保存した内容の損害については当社はいっさいその責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

## 13 「Office」のライセンス認証について

### \* Office搭載モデルのみ

「Office」を使用するには、Windowsのセットアップ後にライセンス認証が必要です。

① スタート画面の [Microsoft Office] をクリックする

以降は、画面の指示に従ってください。

ライセンス認証にはプロダクトキーが必要です。

プロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージを確認してください。



# 1 章

## ■ パソコンの取り扱い

この章では、Windowsのセットアップと基本操作、電源の切りかた／入れかたなど、お買い上げいただいてから実際に使い始めるまでの準備と、本体各部の名前や基本的な使いかたについて説明しています。

1 使う前に確認する .....	14
2 パソコン本体のモードについて .....	16
3 各部の名称 -外観図- .....	20
4 Windowsを使えるようにする .....	24
5 Windows 8について .....	35
6 電源を切る／入れる .....	41
7 画面で見るマニュアル .....	46

# 1 使う前に確認する

## 1 章

### パソコンの取り扱い

## 1 箱を開けたらまずはこれから

### ■ 箱の中身の確認

『dynabook \* \* \* \* (お使いの機種名) シリーズをお使いのかたへ』を参照して、付属品がそろっているか、確認してください。足りない物がある場合や、破損している物がある場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

**参照**▶ 東芝PCあんしんサポート『東芝PCサポートのご案内』

### ■ 型番と製造番号を確認

パソコン本体の背面に型番と製造番号が記載されています。保証書に同じ番号が記載されていることを確認してください。番号が違う場合や、不備があった場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

**参照**▶ 記載位置について「本章 3 - 2」背面図」

## 2 忘れずに行ってください

### ■ はじめに

ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と『ソフトウェアに関する注意事項』、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。

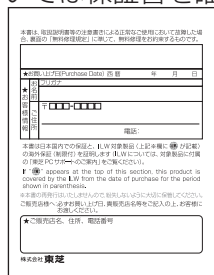
### ■ 保証書は大切に保管

故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は東芝の無料修理サービスが受けられます。保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。

### ■ 海外保証を受けるには

海外で使用するときは「海外保証（制限付）」(ILW:International Limited Warranty) により、海外の所定の地域で、保証書に記載の無料修理規定および制限事項・注意事項の範囲内で修理サービスを利用できます。

利用方法、保証の詳細は、『東芝PCサポートのご案内』の記載内容および保証書に記載の無料修理規定を読んで、確認してください。



## 3 最適な場所で使う

 注意

## ● 本製品を持って振り回さない

ご使用の際には、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

ほかの人にぶついたりして、けがをさせるおそれがあります。

人間にとって住みやすい温度と湿度の環境が、パソコンにも最適な環境です。

次の点に注意して置き場所、使う場所を決めてください。

## ● 安定した場所に置きましょう。

不安定な場所に置くと、パソコンが落ちたり倒れたりするおそれがあり、故障やけがにつながります。

## ● 温度や湿度が高いところは避けましょう。

暖房や加湿器の送風が直接あたる場所はよくありません。

## ● 強い磁気を発するものの近くで使用しないでください。

磁石はもちろん、スピーカー、テレビの近くは磁気の影響を受けます。磁気ブレスレットなどもパソコンを使用するときははずすようにしましょう。

## ● 照明や日光があたる位置も考慮しましょう。

照明や日光が直接ディスプレイにあたると、反射して画面が見つづらくなります。

## ● ラジオやテレビの近くで使用しないでください。

ラジオやテレビの受信障害を引き起こすことがあります。

## ● 無線通信装置から離してください。

携帯電話も無線通信装置の一種です。

## ● パソコンの通風孔をふさがないように置きましょう。

通風孔はパソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。ふさぐと、パソコン本体内部が高温となるため、本来の性能を発揮できない原因や故障の原因となります。

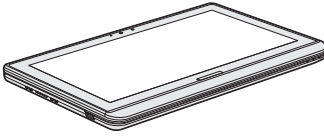

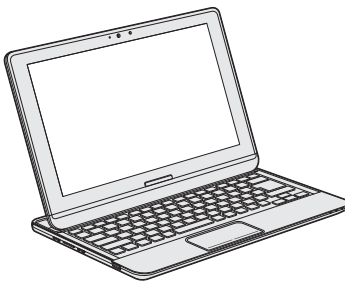
# 2 パソコン本体のモードについて

## 1 章

### 1 モードの種類

パソコン本体を使用するときの形状には、次の3種類があります。

- ・タブレットモード : ディスプレイを倒し、タブレットのように使用する場合
- ・フラットモード : ディスプレイを倒し、ディスプレイとキーボードをフラットにして使用する場合
- ・ノートPCモード : ディスプレイを起こし、ノートPCのように使用する場合

タブレットモード	フラットモード	ノートPCモード
		

- タブレットモードとフラットモードでは、温度上昇を抑えるため、CPU性能より冷却を優先します。CPU性能を優先したい場合は、ノートPCモードで使用してください。
- タブレットモードからノートPCモードに変更した場合、画面表示の向きがノートPCモードに適した向きに固定されます。また、ノートPCモードからタブレットモードに変更した場合、画面表示の向きが自動的に切り替わるようになります。
- タブレットモード、フラットモード時は、「TOSHIBA Active Display Off」は動作しません。



## 2 フラットモードにするには

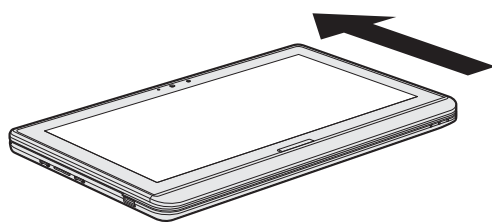
本製品は、ディスプレイとキーボードをフラットにして使用することができます。ディスプレイは、次の手順に従ってスライドしてください。ディスプレイを元の状態へ戻すときは、次の手順を逆に行ってください。

### ⚠ 注意

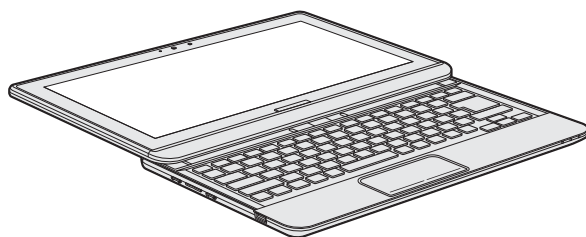
- フラットモードの状態を持ち上げない  
ディスプレイを持つと、ディスプレイがスライドしたり起きたりして、指をはさむおそれがあります。
- ディスプレイをスライドしたり、奥へ倒すときは、指をはさまないようにしてください。けがをするおそれがあります。
- ディスプレイをスライドしたり、奥へ倒すときは、ディスプレイの下に物を置かない  
破損や故障のおそれがあります。
- フラットモードで使用する場合は、ACアダプターやケーブル類を抜く  
パソコン本体やACアダプター、ケーブル、コネクタ類を傷つけるおそれがあります。
- 画面上に物を置かない  
破損や故障のおそれがあります。
- フラットモードで使用したあとは、タブレットモードまたはノートPCモードへ戻す  
フラットモードのまま保管しないでください。傾いたりして破損や故障のおそれがあります。

### 1 ディスプレイをスライドする

2回「カチッ」と音がするまで、水平にゆっくりスライドしてください。



タッチパッドが全面見えたところで、1回「カチッ」と音がします。完全にキーボードが見えて、もう1回「カチッ」と音がするまでゆっくりスライドしてください。



フラットモードで使用していて、対面する相手に画面を見せたい場合、タッチパッドを3本指で1回タッチすると、画面を180°回転することができます。

**参照** ▶ 画面を回転する『オンラインマニュアル』

### 3 ノートPCモードにするには

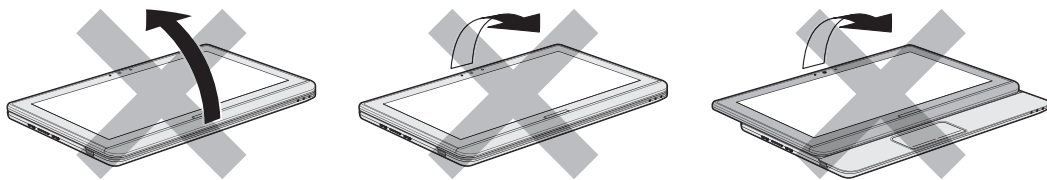
本製品は、ディスプレイを起こしてノートパソコンのように使用することができます。ディスプレイは、次の手順に従って起こしてください。ディスプレイを奥へ倒して元の状態へ戻すときは、次の手順を逆に行ってください。

#### ⚠ 注意

- ディスプレイをスライドしたり、起こしたり、奥へ倒すときは、指をはさまないようにしてください。  
けがをするおそれがあります。
- ディスプレイをスライドしたり、起こしたり、奥へ倒すときは、ACアダプターやケーブル類を抜く  
パソコン本体やACアダプター、ケーブル、コネクタ類を傷つけるおそれがあります。

#### お願い ディスプレイを起こすにあたって

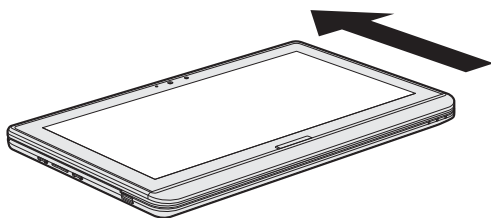
- ディスプレイは、必ず次の手順に従って起こしてください。  
ディスプレイをスライドしない状態や、ディスプレイをスライドする途中の状態では、起こさないようにしてください。



- 本体液晶ディスプレイを起こし過ぎるとヒンジ（「本章 3 - 2 背面図」参照）に力がかかり、破損や故障の原因となります。ヒンジに無理な力が加わらないよう開閉角度に注意してご使用ください。

#### 1 ディスプレイをスライドする

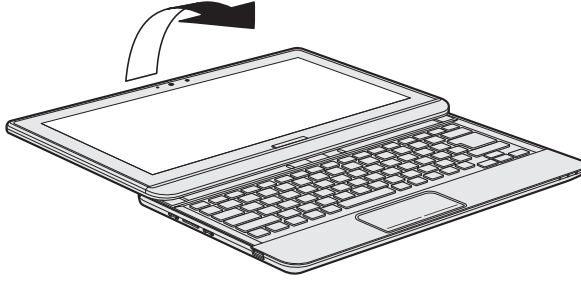
2回「カチッ」と音がするまで、水平にゆっくりスライドしてください。



タッチパッドが全面見えたところで、1回「カチッ」と音がします。完全にキーボードが見えて、もう1回「カチッ」と音がするまでゆっくりスライドしてください。

**2** ディ스플레이を起こす

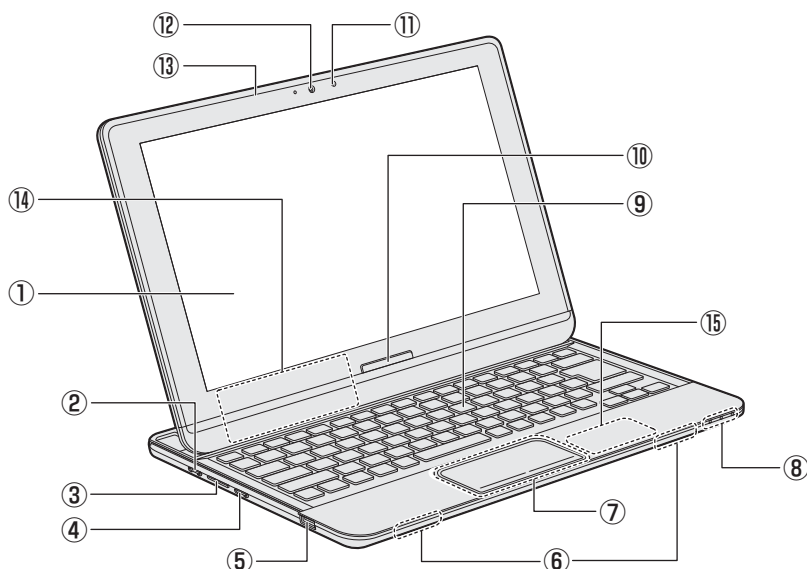
ゆっくり起こしてください。






ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。

それぞれの詳細は、各参照ページや『オンラインマニュアル』を確認してください。

## 1 前面図



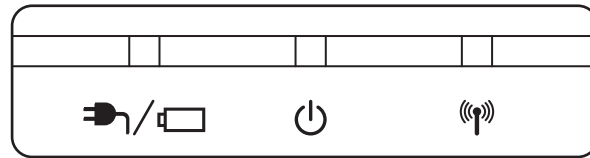
- ① ディスプレイ (画面)
- ② 電源スイッチ
- ③ + — 音量ボタン (音量大ボタン、音量小ボタン)  
音量を調整します。
- ④  オリエンテーションロックボタン  
画面が縦や横に回転しないように、向きを固定するスイッチです。
- ⑤  USBコネクタ  
USB対応機器を接続します。USB3.0規格に対応しています。
- ⑥ スピーカー
- ⑦ タッチパッド、左ボタン、右ボタン
- ⑧ システムインジケーター (→P.21)
- ⑨ キーボード
- ⑩  Windows ボタン  
スタート画面を表示します。
- ⑪ 照度センサー  
この部分に本体液晶ディスプレイの明るさを自動調整するためのセンサーが内蔵されています。照度センサーをふさがないでください。正常に調整されない場合があります。
- ⑫ Webカメラ
- ⑬ マイク
- ⑭ この部分に無線LANのアンテナ、Bluetoothのアンテナ\*<sup>1</sup>が内蔵されています。
- ⑮ この部分にGPSのアンテナ\*<sup>2</sup>が内蔵されています。

\*1 Bluetooth機能搭載モデルのみ

\*2 GPS機能搭載モデルのみ

## 1 システムインジケータ

システムインジケータは、点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているのかを知ることができます。



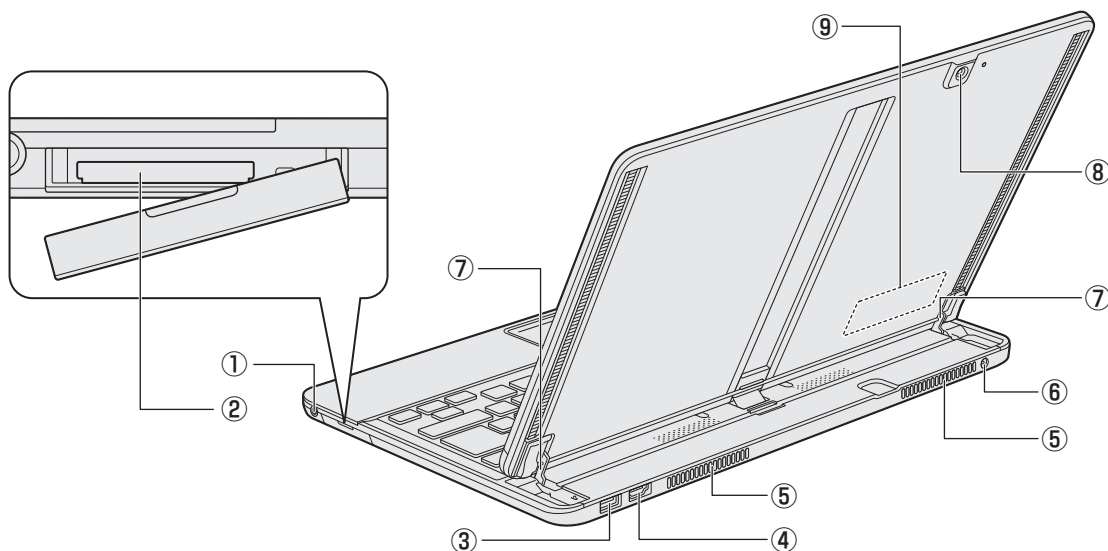
	DC IN/Battery LED	電源コードとACアダプター接続の状態やバッテリーの状態 <b>参照</b> ▶ P.45
	Power LED	電源の状態 <b>参照</b> ▶ P.45
	ワイヤレスコミュニケーションLED	無線通信機能（無線LAN機能／Bluetooth機能* <sup>1</sup> ）の状態 <b>参照</b> ▶ 『オンラインマニュアル』

\* 1 Bluetooth機能搭載モデルのみ

## 2 背面図

## 1 章

## パソコンの取り扱い



## ① ヘッドセット/ヘッドホン端子

ヘッドセット/ヘッドホンを接続します。

## ② SDブリッジメディアスロット

SDメモ리카ード、マルチメディアカードなどをセットします。

## ③ USBコネクタ\*1\*2

USB対応機器を接続します。USB3.0規格に対応しています。

## ④ HDMI HDMI出力端子

HDMIケーブルを接続して、HDMI入力対応機器（テレビ、プロジェクターなど）にパソコンの映像を表示します。

\*1 設定を行うと、パソコン本体の電源が入っていない状態でも、USBコネクタから外部機器に電源を供給することができます。

**参照** USBの常時給電について『オンラインマニュアル』

\*2 設定を行うと、USBコネクタから外部機器に短時間での充電を可能にします。

**参照** USBの高速充電について『オンラインマニュアル』

## ⑤ 通風孔

パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。  
ふさがないでください。

## ⑥ 電源コネクタ (→P.26)

## ⑦ ヒンジ

## ⑧ Webカメラ

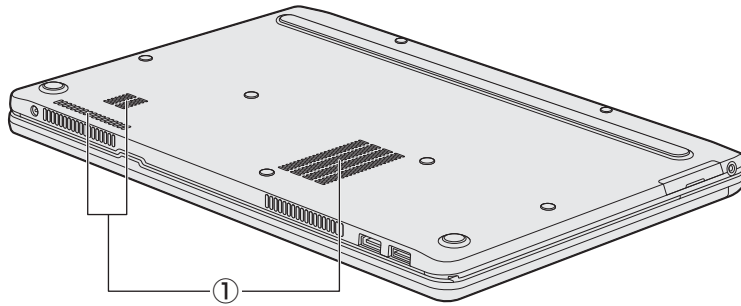
## ⑨ 型番と製造番号

型番（機種名）と製造番号が記載されています。

## ⚠ 危険

- 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する  
寿命などで交換する場合は、東芝PCあんしんサポートに依頼してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

## 3 裏面図



## ① 通風孔

## お願い

## ■ 本製品のメモリ、バッテリーについて

- 本製品はメモリの増設が行えません。
- 本製品にはバッテリーパックが内蔵されていますが、お客様ご自身で取りはずしや交換をしないでください。

## ■ 本製品の裏面について

- 通風孔は、パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。通風孔を通して外の空気を取り込んだり、内部の空気を排出したりすることでパソコン内部に熱がこもるのを防いでいます。通風孔をふさがないでください。通風孔の表面上のほこりは、やわらかい布でふき取ってください。通風孔の内部にほこりが入ったときは、保守サービスに点検を依頼してください。この場合、有料となります。
- 本製品の裏面には、正規のWindowsであることを証明する、「Windows 8」というMicrosoft®のラベルが貼ってあります。はがしたり汚したりしないでください。

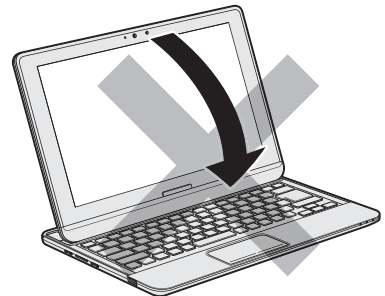
## ■ 機器への強い衝撃や外圧について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

**参照**▶ 「付録 1 - 1 - 機器への強い衝撃や外圧について」

## ■ ディスプレイを奥へ倒して元の状態へ戻すとき

- ディスプレイを奥へ倒して元の状態へ戻すには、ディスプレイを起こすときの手順を逆に行ってください。ディスプレイを起こした状態から、ディスプレイを内側に閉じないようにしてください。破損や故障の原因となります。



## 1 Windows セットアップ

初めて電源を入れたときは、Windowsのセットアップを行います。  
Windowsのセットアップは、パソコンをできるようにするために必要な操作です。  
作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードやACアダプターの取り扱いについて、注意事項を守ってください。


**お願い** セットアップをするときの注意**■ 周辺機器は接続しないでください**

- セットアップを開始する前に、パソコン本体に電源コードとACアダプター以外のものが接続されていないことを確認してください。  
電源コードとACアダプター以外のものが接続されている場合は、パソコン本体の電源を切った状態であらかじめ取りはずしてください。  
セットアップは電源コードとACアダプターのみを接続して行います。  
セットアップが完了するまでは、プリンター、マウスなどの周辺機器やLANケーブルは接続しないでください。

**■ 途中で電源を切らないでください**

- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

**■ 操作は時間をあけないでください**

- セットアップ中にキーボードの操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。  
しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。  
もう一度表示するには、**[SHIFT]**キーを押すか、タッチパッドをさわってください。  
**[SHIFT]**キーやタッチパッドでは復帰せず、Power  LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

**■ 無線通信機能がONであるか確認してください**

- Windows セットアップを始める前にワイヤレスコミュニケーションLEDが点灯していることを確認してください。



## 1 電源コードとACアダプターを接続する

### 警告

- ACアダプターは本製品に付属のものを使用する  
本製品付属以外のACアダプターを使用すると電圧や（+）（-）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- パソコン本体にACアダプターを接続する場合、本書に記載してある順番を守って接続する順番を守らないと、ACアダプターのDC出力プラグが帯電し、感電またはけがをすることがあります。  
また、ACアダプターのプラグをパソコン本体の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

### 注意

- 付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない  
付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。

### **お願い** 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

**参照**▶ 「付録 1 - 2 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて」

## 4 Windows を使えるようにする

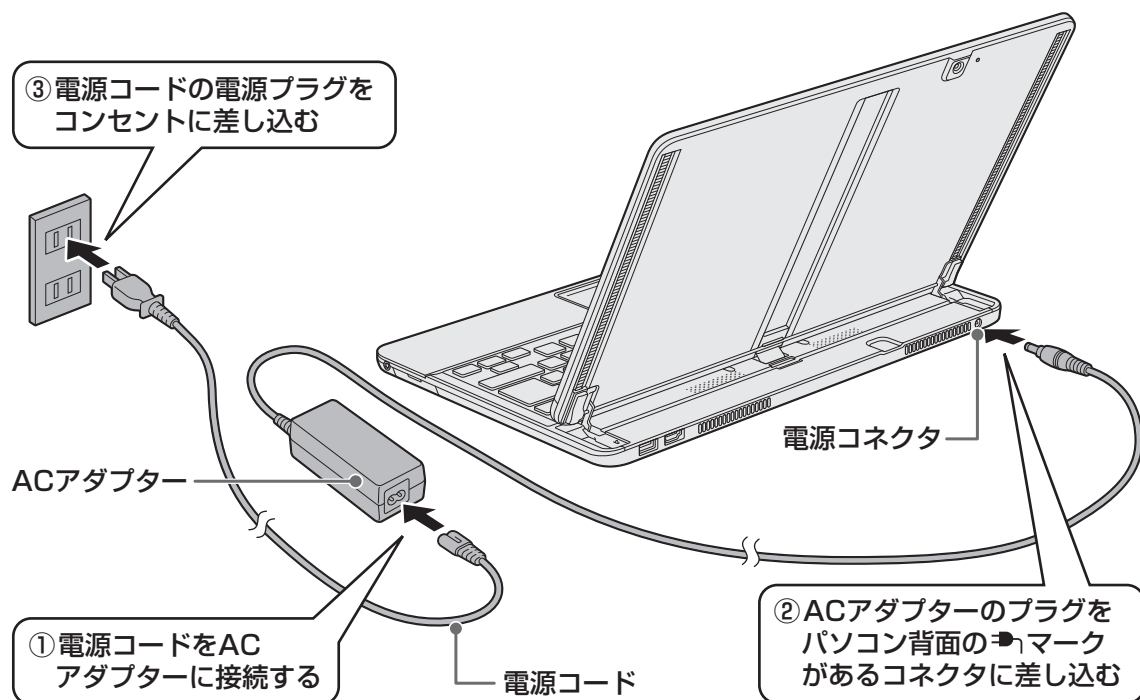
次の図の①→②→③の順で行ってください。

初めて電源を入れるときには、ディスプレイを起こした状態で、電源コードとACアダプターを接続してください。

### 1章

### パソコンの取り扱い

**参照** ▶ ディスプレイを起こす「本章 2 - 3 ノートPCモードにするには」



### 接続すると

システムインジケータのDC IN/Battery LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリーへの充電が自動的に始まります。DC IN/Battery LEDが白色に点灯したら、充電完了です。

**参照** ▶ DC IN/Battery LED「本章 6 - 2 - 電源に関する表示」

### メモ


- バッテリー充電中でもパソコンを使用することができます。

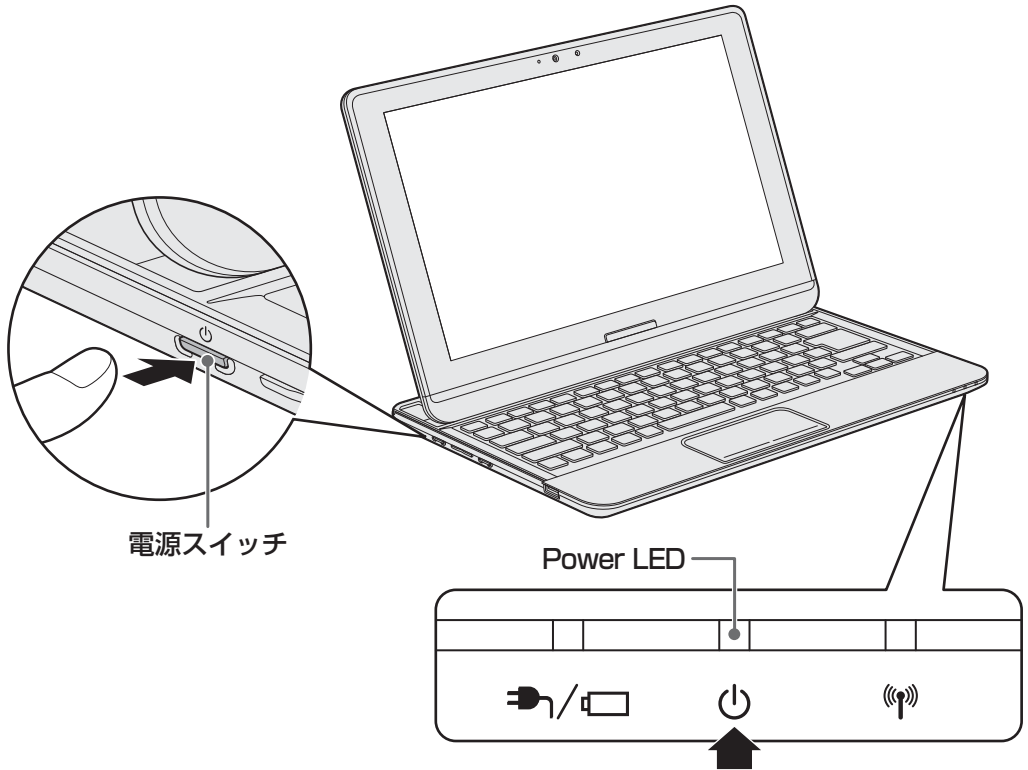
**参照** ▶ 詳細について『オンラインマニュアル』

## 2 電源を入れる

### 1 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。

Power  LED が白色に点灯することを確認してください。



初めて電源を入れたときは、Windows のセットアップを行ってください。

### 3 Windows のセットアップ

セットアップには約10～20分かかります。


## 1 章

## パソコンの取り扱い

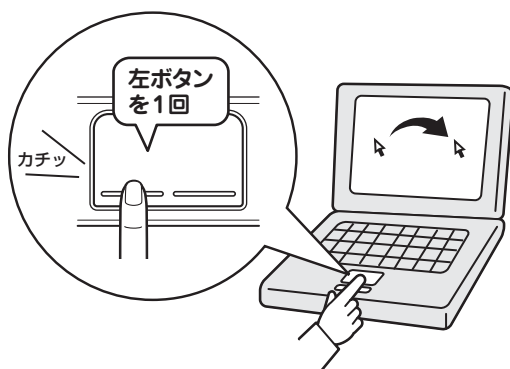


#### 役立つ操作集

##### クリックとは？

タッチパッドに指をおいて、上下左右に動かすと、指の動きに合わせてディスプレイ上の「」（ポインター）が動きます。

目的の位置にポインターを合わせたあと、左ボタン（モデルによっては、ボタンの左側）を1回押す操作を「クリック」といいます。



#### 1 Windows と東芝のライセンス条項の内容を確認し、[ライセンス条項に同意します] の左にある をクリックする

ライセンス条項に同意しないと、セットアップを続行することはできず、Windows やパソコンを使用することはできません。

表示されている条項文の続きを表示するには、画面の右側にある  ボタンをクリックします。

をクリックすると  になります。

#### 2 [同意する] をクリックする

[パーソナル設定] 画面が表示されます。

#### 3 好きな色を選択する

Windows 画面上の基本色を設定できます。表示されているバーの中から好みの色をクリックしてください。

色はあとから変更できます。



#### 次の手順の前に「コンピューター名」とは

コンピューターに名前をつけるのは、使用するパソコンをほかのパソコンと区別するためです。ネットワークに接続する場合は、必ず設定してください。

#### 4 PC (コンピューター) 名を入力する

半角英数字で任意の文字列を入力してください。半角英数字以外は使用しないでください。

「|」（カーソル）が表示されている位置から文字の入力ができます。

同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

「dynabook」と入力するときは、キーボードで **D Y N A B O O K** と押します。

### ■ キーを押しても表示されないときは

キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」（カーソル）が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、[PC名] の下の欄をクリックしてください。

### ■ 入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう一度入力しましょう。

- カーソルの左側の文字を削除する ..... **BACKSPACE** キーを押す
- カーソルの右側の文字を削除する ..... **DEL** キーを押す

カーソルを左右に動かすには、**←** キーまたは **→** キーを押します。

## 5 [次へ] をクリックする

[ワイヤレス] 画面が表示されます。

## 6 無線LANの設定を省略するので、[後でワイヤレス ネットワークに接続する] をクリックする

無線LAN機能を使ったネットワークへの接続は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

[設定] 画面が表示されます。

## 7 [簡単設定を使う] をクリックする

パソコンを使用するうえでの基本的な設定は、セットアップ完了後に変更できるので、ここでは「簡単設定」を選択した場合について説明します。

[PCへのサインイン] 画面が表示されます。



### 次の手順の前に「ユーザー名」とは

ユーザー名は、Windowsを使用しているユーザーをパソコン側で識別するための名前です。

次の手順では、管理者ユーザーのユーザー名を登録します。

管理者ユーザーとは、ネットワークやパソコンを管理する権限を持つユーザーのことです。複数のユーザーで1台のパソコンを使用する場合、管理者ユーザーは、ほかのユーザーに対して使用制限の設定も行えます。

管理者以外のユーザーは、Windowsのセットアップ後に登録できます。

## 8 ユーザー名を入力する

[ユーザー名]と書いてある右の欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。ユーザー名は、半角英数字で入力してください。

### ■ユーザー名に使えない文字列

ユーザー名を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、(スペース)



### 次の手順の前に「パスワード」(Windowsパスワード)とは

パスワードとは、それを入力しないと次のステップに進めないようにできる、特定の文字列です。

ここでは、Windowsを起動するときに入力しないと、Windowsを起動できないようにするためのパスワードを設定します。これを「Windowsパスワード」と呼びます。

### お願い

- パスワードを忘れると、Windowsを起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をするしか、方法がなくなってしまいます。その場合、購入後にパソコンに保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

## 9 パスワードを入力する

[パスワード]と書いてある右の欄に、Windowsパスワードとして設定したい文字を入力してください。

Windowsパスワードは半角英数字で127文字まで設定できます。8文字以上で設定することを推奨します。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。

Windowsパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

## 10 パスワードをもう一度入力する

[パスワードの確認入力]と書いてある右の欄に、手順 **9** で入力したWindowsパスワードを、もう一度入力してください。

**次の手順の前に「パスワードのヒント」とは**

設定したWindowsパスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを設定しておく、パスワード入力画面で表示させることができます。

**11 パスワードのヒントを入力する**

[パスワードのヒント] と書いてある右の欄に、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

**12 [完了] をクリックする****13 パソコンの設定が準備される**

Windows セットアップが終了すると、コンピューターがユーザーの設定を準備します。しばらくお待ちください。


ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、

**SHIFT** キーを押してください。次の画面に進みます。

パスワードを入力する画面が表示された場合は、パスワードを入力して **ENTER** キーを押してください。

Windows が起動します。

**メモ**

- しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。もう一度表示するには、**SHIFT** キーを押すか、タッチパッドをさわってください。**SHIFT** キーやタッチパッドでは復帰せず、Power  LED が点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

### 4 「東芝サービスステーション」について

「東芝サービスステーション」は、ソフトウェアのアップデートや重要なお知らせを自動的に提供するためのソフトウェアです。以降の説明をお読みのうえ、「東芝サービスステーション」を使用して、本製品を最新の状態に保つことを強くおすすめします。

このソフトウェアは本製品の識別情報などを当社のサーバーへ送信します。使用できるように設定する前に、詳しい内容を説明した使用許諾書が表示されますので、よくお読みください。



- 「東芝サービスステーション」を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。
- 「東芝サービスステーション」は、本製品に用意されているアプリケーション、ユーティリティ、ドライバーやBIOSのうち、一部についてアップデートをお知らせします。「あなたのdynabook.com」や「dynabook.com」の「よくある質問 FAQ」やウイルス・セキュリティ情報と「Microsoft Update」などをあわせてご利用ください。

### インストール方法

「東芝サービスステーション」は購入時の状態ではインストールされていません。次の手順でインストールしてください。

- 1 スタート画面のタイルのない部分で、右クリックする
- 2 [すべてのアプリ] をクリックする
- 3 [アプリケーションの再インストール] をクリックする
- 4 [セットアップ画面へ] をクリックする
- 5 [ユーティリティー] タブをクリックする
- 6 画面左側の[TOSHIBA Service Station]または[東芝サービスステーション] をクリックし、画面右側の [[東芝サービスステーション] のセットアップ] をクリックする
- 7 表示されるメッセージに従ってインストールを行う  
「XXXXXX（ファイル名）を実行または保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、[実行] ボタンをクリックしてください。



## 設定方法

「東芝サービスステーション」を使用できるように設定する方法は、次のとおりです。

### 1 スタート画面の [デスクトップ] をクリックする

デスクトップ画面が表示されます。

### 2 [デスクトップアプリメニュー] アイコン ( ) をダブルクリックする

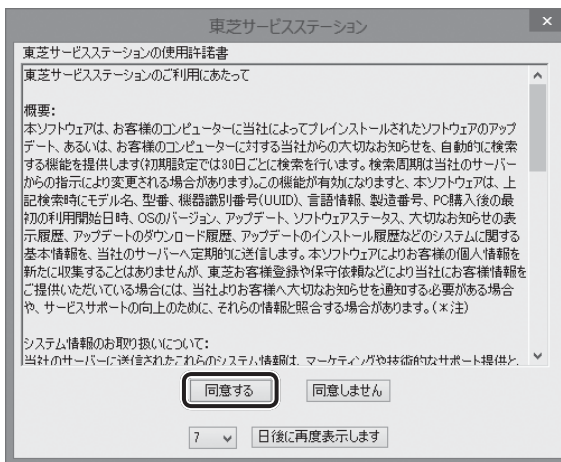
「東芝デスクトップアプリメニュー」が起動します。

### 3 [サポート & リカバリー] → [サービスステーション] または [Service Station] をクリックする

「東芝サービスステーション」が起動します。

初めて起動したときは、本ソフトウェアに関する詳しい説明（使用許諾書）が表示されます。

### 4 内容を確認し、[同意する] ボタンをクリックする



(表示例)

使用許諾書に同意すると、以降は、ソフトウェアのアップデートや当社からのお知らせを検出する機能が、パソコンを起動すると自動的に動作します。

## 1 章

## パソコンの取り扱い

### ■ 使用方法

---

#### ■ ソフトウェアのアップデートがある場合

本製品に用意されているアプリケーション、ユーティリティ、ドライバーやBIOSにアップデートがあることを検知すると、メッセージ「X件の新しいソフトウェアのアップデート（更新）があります。」が表示されます。

メッセージを確認し、画面の指示に従って操作してください。

#### ■ 本製品に対するお知らせがある場合

本製品に対する当社からのお知らせが準備されたことを検出すると、メッセージ「X件の新しいお知らせがあります。」が表示されます。

メッセージを確認し、画面の指示に従って操作してください。

手動で、ソフトウェアのアップデート、またはお知らせを確認したい場合は、「東芝サービスステーション」を起動して「すべてのアップデートを確認」をクリックしてください。

# 5 Windows 8 について

Windows 8の画面構成やメニューの位置は、Windows 7などの従来のWindowsとは異なっています。

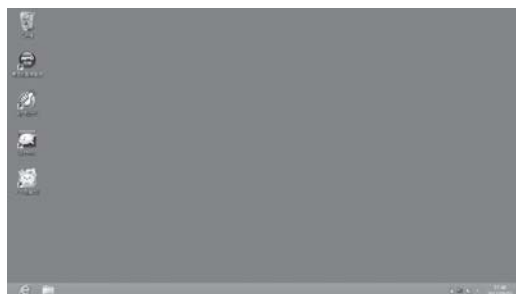
従来のWindowsとWindows 8で大きく異なる点は、メイン画面が2種類あることです。起動して最初に表示される「スタート画面」と、従来のWindowsに似ている「デスクトップ画面」があります。

## <スタート画面>



(表示例)

## <デスクトップ画面>



(表示例)

## 1 画面の切り替えについて

スタート画面とデスクトップ画面の切り替えかたについて説明します。目的や好みに応じて画面を使い分けてください。

### □ スタート画面からデスクトップ画面に切り替える

#### 1 [デスクトップ] をクリックする

\* [デスクトップ] アイコン (タイル) は、デスクトップ画面の壁紙によって表示されるアイコンが異なります。  
またモデルや使用状況により、画面上での位置が異なる場合があります。



(表示例)

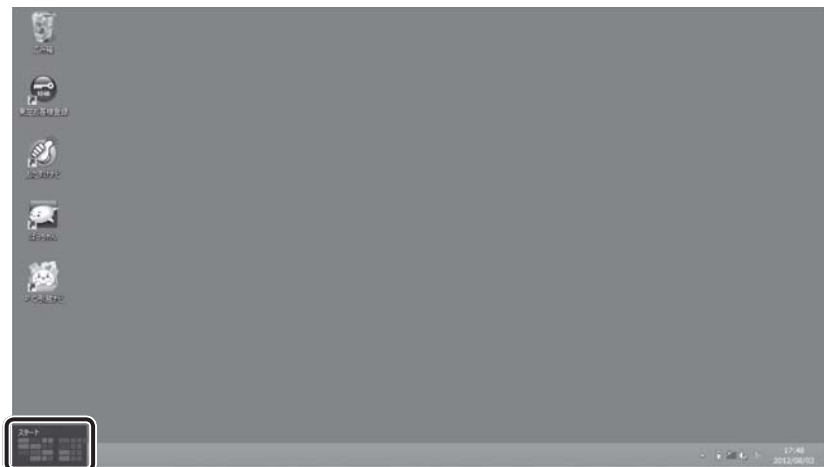
デスクトップ画面が表示されます。

□ デスクトップ画面からスタート画面に切り替える

1章

パソコンの取り扱い

- 1 ポインターを画面の左下隅に合わせ、表示されたスタート画面のアイコンをクリックする



(表示例)

スタート画面が表示されます。

## 2 チャームとアプリケーションの切り替えについて

画面の4隅にポインターを合わせると、バーが表示されます。

右側のバーは、「チャーム」と呼ばれるメニューバーです。

左側のバーは、起動しているアプリケーションを切り替えることができます。

両方とも、すべての画面で表示することができます。

### 1 チャームの操作方法

- 1 ポインターを画面の上または下の右隅に合わせる  
または、画面の右端から左に向かって指でフリックしてください。



(表示例)






5つのメニューアイコンが表示されます。

## 2 目的の項目を選択する



(表示例)

上から [検索]、[共有]、[スタート]、[デバイス]、[設定] です。  
内容は、次のとおりです。

-  **検索**  
アプリケーションやファイルなどを検索します。
-  **共有**  
共有するためのツールが用意されています。
-  **スタート**  
画面を切り替えます。
-  **デバイス**  
パソコンに接続している周辺機器を表示します。
-  **設定**  
設定メニューです。電源を切るためのメニューもここにあります。

## 2 スタート画面でアプリケーションを切り替える方法

## 1 章

## パソコンの取り扱い

## 1 ポインターを画面の上または下の左隅に合わせる

または、画面の左端から右に向かって指でフリックしてください。



(表示例)

ポインターを合わせた場所によって、次の項目が表示されます。

- ① 現在起動しているアプリケーションの中から最後に使用したアプリケーションのアイコンが表示されます。
- ② スタート画面を表示している場合は、現在起動しているアプリケーションの中から最後に使用したアプリケーションのアイコンが表示されます。  
スタート画面でアプリケーションを起動している場合は、スタート画面のアイコンが表示されます。

表示させたあとに①から②、または②から①にポインターを移動させると、現在起動しているアプリケーションの一覧が表示されます。

## 2 使用したいアプリケーションをクリックする

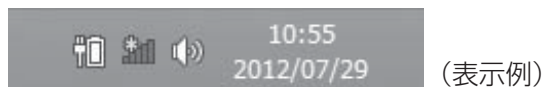


(表示例)

\* 画面は、現在起動しているアプリケーションの一覧を表示した例です。

## 日付と時刻の確認

日付と時刻は、デスクトップ画面右下の「通知領域」に表示されています。正しく設定されているかどうか確認してください。



正しく設定されていない場合は、『Windows ヘルプとサポート』を確認して設定してください。

## Windows 8でわからない操作があったとき

Windows 8の使いかたについては、スタート画面のタイルのない部分で右クリック→「すべてのアプリ」→「Windows システムツール」→「ヘルプとサポート」をクリックして、『Windows ヘルプとサポート』を参照してください。

Windows 8の最新情報は次のホームページから確認できます。

- Windows 8について

URL : <http://www.microsoft.com/japan/windows/default.mspx>

## Windows を最新の状態にする

「Windows Update」で更新プログラムをインストールしてください。

**参照**▶ 「Windows Update」について『Windowsヘルプとサポート』

## ドメインに接続する

企業内など、ある1つにまとまったネットワークをドメインと呼びます。

ここでは、本製品をドメインに接続する設定方法を説明します。

ドメインのユーザー名やパスワードなど、詳しい設定方法がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

本製品を複数のユーザーで使用している場合は Administrator と呼ばれる管理者のユーザーに切り替えてから設定を行ってください。

### 1 スタート画面の「デスクトップ」をクリックする

デスクトップ画面が表示されます。

### 2 「デスクトップアプリメニュー」アイコン ( ) をダブルクリックする

「東芝デスクトップアプリメニュー」が起動します。

### 3 「コントロールパネル」をクリックする

### 4 [ システムとセキュリティ ] をクリックする

**5** [システム] をクリックする

**6** [コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定] の [設定の変更] をクリックする

[システムのプロパティ] 画面が表示されます。

**7** [コンピューター名] タブで [変更] ボタンをクリックする

**8** [ドメイン] をチェックしてから接続するドメインの名前を入力し、[OK] ボタンをクリックする

**9** ドメインの [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[OK] ボタンをクリックする

**10** [OK] ボタンをクリックする

**11** [OK] ボタンをクリックする

パソコンを再起動してください。

## リカバリーメディアの作成

リカバリーメディアを作成しておくことを強くおすすめします。リカバリーメディアとは、システムやアプリケーションをご購入時の状態に復元（リカバリー）するためのものです。

**参照** ▶ リカバリーメディアについて『オンラインマニュアル』

なお、リカバリーメディアを使って実際にリカバリーを行うときは、操作の流れをよくご確認ください。

**参照** ▶ リカバリーについて「3章 買ったときの状態に戻すには」

## バックアップをとる

作成したファイルを誤って削除してしまったり、突然のパソコンのトラブルによって保存したファイルが使いなくなってしまうことがあります。

このような場合に備えて、あらかじめファイルをDVD-RやUSBフラッシュメモリなどの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。

一度なくしたデータを復旧することはできません。

万が一のために、必ず定期的にバックアップをとりましょう。

\* CD/DVD/ブルーレイディスクにバックアップをとる場合、外付けの書き込み可能なCD/DVD/ブルーレイディスクドライブ（市販品）が必要です。

ただし、すべての外付けCD/DVD/ブルーレイディスクドライブでの動作確認は行っておりません。したがって、すべての外付けCD/DVD/ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。



## 1 電源を切る

パソコンを使い終わったとき、電源を完全に切る「シャットダウン」を行ってください。間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失ったりするおそれがあります。中断するときは、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する「スリープ」があります。

**参照** ▶ スリープについて『オンラインマニュアル』

### 警告

#### ● 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る

パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定した上で、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。

- ・ 無線通信機能は、**FN** + **F8** キーを押してOFFにすることができます。**FN** + **F8** キーを押して「機内モード オン」に設定し、ワイヤレスコミュニケーションLEDが消灯しているのを確認してください。
- ・ スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
- ・ 電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
- ・ Intel® Rapid Start Technologyで休止状態になっている場合がありますので、確実に電源を切るため、一度パソコンを起動し、その後電源を切って（シャットダウンして）ください。

### **お願い** 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- SSDやメディアへのアクセス中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

電源を切るには、次のように操作してください。

### 1章

### パソコンの取り扱い

#### 1 ポインターを画面の上または下の右隅に合わせる



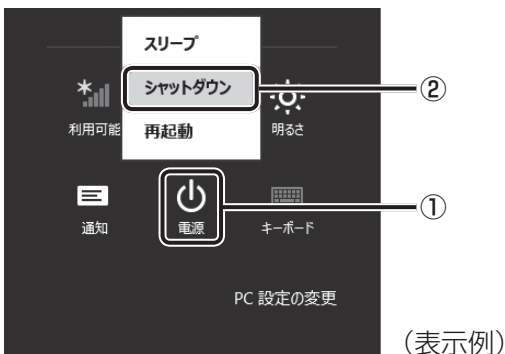
チャームが表示されます。

#### 2 [設定] をクリックする



画面右側に [設定] 画面が表示されます。

#### 3 [電源] をクリックし①、表示されたメニューから [シャットダウン] をクリックする②



Windows を終了したあと、パソコンの電源が自動的に切れます。  
パソコンの電源が切れると、Power LEDが消灯します。



- システムが操作できなくなり、チャームの「設定」画面から電源を切ることができない場合は、電源スイッチを5秒以上押し、強制的に電源を切る（強制終了）ことができます。強制終了は、システムが操作できなくなったとき以外には行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。

### お願い 電源を切ったあとは

- パソコン本体に接続している機器（周辺機器）の電源は、パソコン本体の電源を切ったあとに切ってください。
- ディスプレイは静かに操作してください。無理な力を加えるとパソコン本体が故障する場合があります。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。
- 周辺機器の取り付け／取りはずし、BIOS セットアップの設定などを行う場合は、**SHIFT** キーを押しながら、メニューから「シャットダウン」をクリックしてください。

### ■再起動

Windowsを終了したあと、すぐにもう一度起動することを「再起動」といいます。パソコンの設定を変えたときやパソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。再起動するには、次のように操作してください。

#### ①チャームの「設定」をクリックする

画面右側に「設定」画面が表示されます。

#### ②「電源」をクリックし、表示されたメニューから「再起動」をクリックする

## 2 電源を入れる

Windows セットアップを終えたあとは、次の手順で電源を入れます。

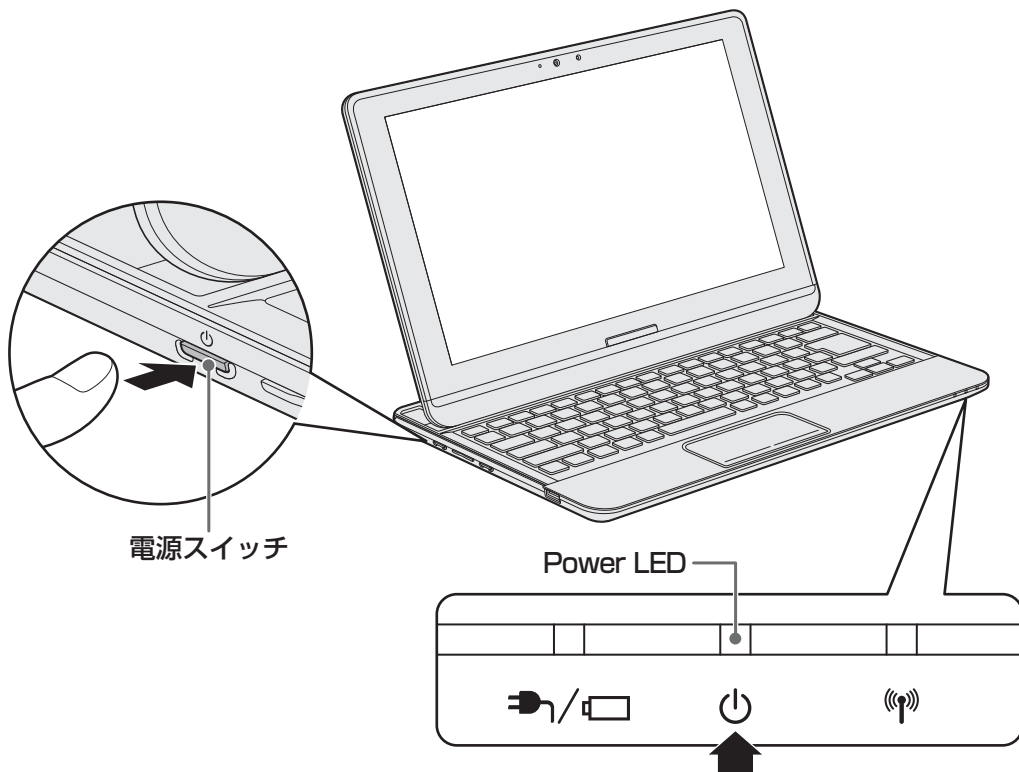
### お願い 電源を入れる前に

- 各スロットに記録メディアなどをセットしている場合は取り出してください。
- プリンターなどの周辺機器を接続している場合は、パソコン本体より先に周辺機器の電源を入れてください。

### 1 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。

Power LED が白色に点灯することを確認してください。



ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、**[SHIFT]** キーを押してください。次の画面に進みます。

各種パスワードを設定している場合は、パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力して **[ENTER]** キーを押してください。

複数のユーザーで1台のパソコンを使用している場合、表示されているユーザーとは違うユーザーでサインインしたいときは、[ユーザーの切り替え] ボタン (👤) をクリックしてください。ユーザーの一覧が表示され、希望のユーザーを選択できます。

Windows が起動します。



- 本製品にはスリープから一定時間後に休止状態に変わるIntel® Rapid Start Technologyが搭載されており、購入時の設定では有効になっています。

**参照** ▶ 『オンラインマニュアル』

## 電源に関する表示

電源の状態はシステムインジケータの点灯状態で確認することができます。

電源に関係あるインジケータとそれぞれの意味は次のとおりです。

	状態	パソコン本体の状態
DC IN/Battery  /  LED	白色の点灯	電源コードとACアダプターを接続している (バッテリー充電完了)
	オレンジ色の点灯	電源コードとACアダプターを接続している (バッテリー充電中)
	オレンジ色の点滅	充電が必要
	消灯	電源コードとACアダプターを接続していない
Power  LED	白色の点灯	電源ON
	オレンジ色の点滅	スリープ中
	消灯	電源OFF、休止状態


\* 電源に関するトラブルについては、「4章 **1** Q&A集」を参照してください。

Windowsが起動しているときに、『オンラインマニュアル』をパソコン画面上で見ることができます。

『オンラインマニュアル』には、本製品の使用方法についての説明がより多く記載されています。

## 起動方法

---

- 1** スタート画面の【デスクトップ】をクリックする  
デスクトップ画面が表示されます。
- 2** 【オンラインマニュアル】アイコン (  ) をダブルクリックする  
『オンラインマニュアル』が表示されます。

## メモ

---

- 『取扱説明書（本書）』の内容も、パソコンの画面上で見ることができます。東芝PC総合情報サイト「dynabook.com ( <http://dynabook.com/pc/> )」からダウンロードしてください。
-

# 2章

## ■ システム環境の変更

本製品を使用するときの、システム上のさまざまな環境を設定する方法について説明しています。

- 1 システム環境の変更とは ..... 48
- 2 BIOS セットアップを使う ..... 49
- 3 パソコンの動作状況を監視し、記録する  
- 東芝PCヘルスマニター ..... 52

# 1

## システム環境の変更とは

本製品は、次のようなパソコンのシステム環境を変更できます。

システム環境を変更するには、Windows上のユーティリティで変更するか、またはBIOSセットアップで変更するか、2つの方法があります。

通常は、Windows上のユーティリティで変更することを推奨します。

各項目の詳細は、『オンラインマニュアル』を参照してください。

### 2章

#### システム環境の変更

変更できる項目		Windows上のユーティリティ
ハードウェア環境（パソコン本体）の設定		「東芝システムセッティング」
パスワードセキュリティの設定	ユーザーパスワード	「東芝パスワードユーティリティ」
	スーパーバイザーパスワード	「東芝パスワードユーティリティ」
省電力の設定		「電源オプション」

BIOSセットアップについては「本章 **2** BIOSセットアップを使う」をご覧ください。



バイオス

BIOS セットアップとは、パソコンのシステム構成をパソコン本体から設定するプログラムのことです。

次のような設定ができます。

- ハードウェア環境（パソコン本体、周辺機器接続ポート）の設定
- セキュリティの設定
- 起動方法の設定



### メモ BIOS セットアップを使用する前の注意

- 通常、システム構成の変更はWindows 上の「東芝システムセッティング」、「東芝パスワードユーティリティ」、「電源オプション」、「デバイスマネージャー」などで行ってください。

**参照** ▶ 「東芝システムセッティング」「東芝パスワードユーティリティ」「電源オプション」について『オンラインマニュアル』

**参照** ▶ 「デバイスマネージャー」について『Windows ヘルプとサポート』

- 使用しているシステムによっては、システム構成を変更しても、変更が反映されない場合があります。
- BIOS セットアップで設定した内容は、電源を切っても消えません。しかし、時計用バッテリーが消耗した場合は標準設定値に戻ります。

## 1 起動と終了／BIOS セットアップの操作

BIOS セットアップの起動／終了や操作には、ディスプレイを起こし、パソコン本体のキーボードを使用してください。

**参照** ▶ ディスプレイを起こす「1章 2 - 3 ノートPCモードにするには」

### 1 起動

- 1 データを保存し、**SHIFT** キーを押しながら [シャットダウン] をクリックして電源を切る

**参照** ▶ 電源の切りかた「1章 6 - 1 電源を切る」

- 2 電源スイッチを押し、すぐに **F2** キーを数回押す



各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **ENTER** キーを押してください。

**参照** ▶ パスワードについて『オンラインマニュアル』

BIOS セットアップが起動します。

起動できなかった場合は、手順 **1** の終了操作を行ってパソコン本体の電源を切り、手順 **2** をやり直してください。

### 2 終了



- 1   キーを押して、[Exit] メニューを表示する
- 2 終了方法を選択する
- 3 画面の指示に従ってBIOS セットアップを終了する

### 途中で終了する方法

設定内容がよくわからなくなったり、途中で設定を中止する場合には行います。この場合は変更した内容は、一部の設定を除き無効になります。

設定値は変更前の状態のままです。

各種パスワード、[Main] メニューの [System Time] と [System Date] の各設定については、変更前の状態に戻りません。

- 1  キーを押す  
画面にメッセージが表示されます。
- 2  キーを押す  
BIOS セットアップが終了します。

## 3 基本操作

基本操作は次のとおりです。

メニューを選択する	← または → 上段のメニュー名が反転している部分が現在表示しているメニュー画面です。
変更したい項目を選択する	↑ または ↓ 画面中で反転している部分が現在変更できる項目です。
サブメニューや設定値の一覧を表示する	ENTER
項目を切り替える	TAB *一部の項目のみ
設定内容を変更する	F6、F7 *一部の項目のみ
設定内容を標準値にする	F9 メッセージが表示されます。Y キーを押してください。各種パスワードなど一部の設定については、標準値に戻りません。
設定を保存し、BIOS セットアップを終了する	F10 メッセージが表示されます。Y キーを押してください。BIOS セットアップ終了後、Windows が起動します。保存しない場合は N キーを押してください。
設定を保存しないで、BIOS セットアップを終了する	ESC メッセージが表示されます。Y キーを押してください。サブメニュー表示中は1つ前の画面に戻ります。各種パスワード、[Main] メニューの[System Time] と[System Date] の各設定については、変更前の状態に戻りません。

 役立つ操作集

### スーパーバイザーパスワードについて

スーパーバイザーパスワードを設定すると、起動するドライブの変更の禁止や、BIOS セットアップの設定を変更できないようにするなど、パソコン本体の設定について制限をかけられます。

#### 参照 ▶ 『オンラインマニュアル』

制限をかけた設定を変更したい場合は、「東芝パスワードユーティリティ」でスーパーバイザーパスワードの解除、または設定の変更を行ってください。

「東芝PCヘルスマニター」は、消費電力や冷却システムなどを監視し、システムの状態をメッセージなどでお知らせします。また、パソコン本体および各種デバイスの使用状況を、収集管理します。

「東芝PCヘルスマニター」の機能は、ヘルプで確認できます。

### お願い

- 「東芝PCヘルスマニター」は、いかなる場合も東芝の標準的な保証の範囲を広げるものでも変更するものでもありません。東芝の標準的な保証が適用されます。

### メモ

- 収集管理されるパソコン本体や各種デバイスの情報、および使用状況の情報は、パソコン本体のSSDに保存されます。これらの情報には以下の内容が含まれます。

PCの基本情報	モデル名、型番、製造番号、BIOSバージョンなど
各種デバイスの基本情報	ディスプレイ、サウンド、ネットワーク、SSDなど
オペレーティングシステム情報	OSバージョン、OSをインストールした日時、Direct Xのバージョン、Internet Explorerのバージョン、修正プログラムのリストなど
各種デバイスの操作時間／回数	電源スイッチ、キーコンビネーション、ACアダプター、バッテリーパック、ディスプレイ、ファン、SSD、USBなど
パソコンの使用開始日付	—
パソコン本体や各種デバイスの使用状況	省電力設定、バッテリーパックの温度や放充電容量、CPU、メモリ、バックライト* <sup>1</sup> の点灯時間、各種デバイスの温度など

\* 1 搭載モデルでのみ情報が保存されます。

SSDに保存されるデータの量は1年間で10MB以下であり、SSDの全体容量のわずかしが使用しません。

- これらの情報は、システム状態の監視と通知、および、パソコンが東芝PCあんしんサポートに持ち込まれたときの不具合の診断に使用します。また、東芝はそれらの情報を品質保証適用の判断に使用することもあります。
- 「東芝PCヘルスマニター」は、一度有効にした場合でも、「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」からアンインストールすることで、本機能を動作しないようにすることができます。その際、SSDに記録されている「東芝PCヘルスマニター」が採取したデータは自動的に削除されます。

## 1 東芝PCヘルスマニターを起動する

ここでは、「東芝PCヘルスマニター」の起動方法について説明します。

### 1 スタート画面の [デスクトップ] をクリックする

デスクトップ画面が表示されます。

### 2 [デスクトップアプリメニュー] アイコン ( ) をダブルクリックする

「東芝デスクトップアプリメニュー」が起動します。

### 3 [サポート&リカバリー] → [PCヘルスマニター ] をクリックする

初めて起動したときは、「東芝PCヘルスマニター」の説明画面が表示されます。

[次へ] ボタンをクリックすると、「東芝PCヘルスマニターについての注意事項およびデータの収集と利用の許諾」画面が表示されます。画面に表示された内容を確認し、注意と許諾の内容に同意のうえ、[同意する] を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。


「東芝PCヘルスマニター」が起動し、パソコンの機能の監視と使用状況の情報収集管理を開始します。システムの状態は表示される画面で確認できます。

不調の原因となりうる変化が検出された場合、メッセージが表示されます。メッセージの内容に従って操作してください。

また、冷却メッセージが表示された場合には、次の説明を確認してください。

**参照**▶ 「本節 2」メッセージが表示された場合」

#### メモ

- 「東芝PCヘルスマニター」の利用の許諾に同意し、一度プログラムを有効にすると、「東芝PCヘルスマニター」の画面を閉じても、パソコンの機能の監視と使用状況の情報収集管理は続行されます。この場合、不調の原因となりうる変化が検出されたときは、通知領域の「東芝PCヘルスマニター」アイコン (  ) からメッセージが表示されます。

「東芝PCヘルスマニター」の詳細は、ヘルプを参照してください。

## ヘルプの起動方法

### 1 通知領域の [東芝PCヘルスマニター] アイコン ( ) を右クリックし、表示されたメニューから [ヘルプ] をクリックする

\* 通知領域にアイコンが表示されていない場合は、 をクリックしてください。

## 2 メッセージが表示された場合

不調の原因となりうる変化が検出された場合、メッセージが表示されます。メッセージの内容に従って操作してください。

次のメッセージが表示された場合は、「東芝冷却性能診断ツール」を実行してください。

「PCの冷却性能が低下している可能性があります。冷却性能診断ツールを実行してください。」

### 「東芝冷却性能診断ツール」を実行する

#### 1 メッセージ画面で【OK】ボタンをクリックする

「東芝冷却性能診断ツール」が起動します。




#### 2 画面の指示に従って操作する

診断の結果、次のメッセージが表示された場合は、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

「PCの冷却性能が低下している可能性があります。安心してお使いいただくために、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。」

一時的に使用される場合は、省電力の設定を変更することをおすすめします。

## 省電力の設定を変更する

- 1** スタート画面の [デスクトップ] をクリックする  
デスクトップ画面が表示されます。
- 2** [デスクトップアプリメニュー] アイコン (  ) をダブルクリックする  
「東芝デスクトップアプリメニュー」が起動します。
- 3** [コントロールパネル] をクリックする
- 4** [  システムとセキュリティ ] → [  電源オプション ] をクリックし、  
選択している電源プランの [プラン設定の変更] をクリックする
- 5** [詳細な電源設定の変更] をクリックする  
[詳細設定] 画面が表示されます。
- 6** [東芝省電力設定] をダブルクリックし、表示される項目の [熱制御の  
設定] をダブルクリックする
- 7** [バッテリー駆動] と [電源に接続] で、それぞれ [CPU速度低下を優先]  
を選択する
- 8** [OK] をクリックする

東芝冷却性能診断ツールは、いかなる場合も東芝の標準的な保証の範囲を広げるものでも変更するものでもありません。東芝の標準的な保証が適用されます。





# 3章

## 買ったときの状態に戻すには —リカバリー—

この章では、パソコンの動作がおかしくなり、いろいろなトラブル解消方法では解決できないときに行う「リカバリー」について説明しています。リカバリーを行うことでシステムやアプリケーションを購入時の状態に復元できます。作成したデータなどが消去されますので、よく読んでから行ってください。

- 1 パソコンを初期状態に戻すために  
—リカバリーとは—..... 58
- 2 パソコンを初期状態に戻す —リカバリー—..... 62
- 3 パソコンを初期状態に戻したあとは..... 67
- 4 プレインストールのアプリケーションを  
再インストールする..... 68

パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう一度ご購入時の状態に復元することです。SSD内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windowsパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにリカバリーをしてください。

- パソコンの動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- SSDにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない\*<sup>1</sup>
- パソコンの調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝PC あんしんサポートに相談した結果、「リカバリーが必要」と診断された

\*<sup>1</sup> ウイルスチェックソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

一度リカバリーを始めると、途中で中止したり、パソコンの電源を切ることができません。リカバリーには時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

## お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。

## メモ

- リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリーを実行されないよう、ユーザーパスワードを設定しておくことをおすすめします。

**参照** ユーザーパスワード『オンラインマニュアル』

- 購入時にプレインストールされていたアプリケーションやドライバーを誤って削除してしまった場合は、スタート画面のタイルのない部分で右クリック→ [すべてのアプリ] → [アプリケーションの再インストール] から再インストールを行うことをおすすめします。

**参照** 「本章 4 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

それでも解消できない場合にリカバリーを行ってください。

## 1 パソコンを初期状態に戻す前に確認すること

パソコンの動作がおかしいと感じたとき、次の方法を実行してみてください。リカバリーをしなくても、状態が改善される場合があります。次の方法をすべて試してみても状態が改善されない場合に、リカバリーを実行してください。

### ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する

ウイルスチェックソフトを使って、ウイルスに感染していないかどうかを確認してください。ウイルスが検出されたら、ウイルスチェックソフトで駆除できます。その際、ウイルス定義ファイル（パターンファイル）は、最新のものに更新しておいてください。

場合によっては、ウイルスチェックソフトで駆除できないウイルスもあります。そのときは、リカバリーを実行してください。

### 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

USB対応機器など、購入後に追加で増設した機器が障害の原因となっている場合があります。それらを取りはずしてから、再起動して、動作を確認してみてください。また、電源関連のトラブルの場合は、パソコンの電源を切り、電源コードとACアダプターをいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してみてください。

**参照** 機器の取りはずし『オンラインマニュアル』

### ほかのトラブル解消方法を探す

パソコンの調子がおかしいと思ったときは、「4章 **1** Q&A集」を確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。

それでも解消できないときに、リカバリーをしてください。

### 「システムの復元」で以前の状態に復元する

「システムの復元」は、パソコンに問題が発生したときに、個人用のデータを失わずにパソコンを以前の状態に復元するための機能です。

詳しくは、『Windows ヘルプとサポート』を参照してください。

## 2 パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと

リカバリーをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

### 準備するもの

- 『取扱説明書』（本書）
  - 巻末のリカバリーチェックシートをコピーしたもの
  - リカバリーメディア（あらかじめ作成してあるリカバリーメディアからリカバリーする場合）
  - 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）（DVDのリカバリーメディアからリカバリーする場合）
- \* ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作確認は行っておりません。したがって、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

### 必要なデータのバックアップをとる

リカバリーをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、SSDに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、可能な場合は、記録メディア（CD／DVDやUSBフラッシュメモリなど）にバックアップをとってください。

\* 本製品でCD／DVD／ブルーレイディスクにバックアップをとる場合、外付けの書き込み可能なCD／DVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）が必要です。

ただし、すべての外付けCD／DVD／ブルーレイディスクドライブでの動作確認は行っておりません。したがって、すべての外付けCD／DVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

- [ドキュメント]（または [マイ ドキュメント]）、[ピクチャー]（または [マイ ピクチャー]）などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- Microsoft Internet Explorerの [お気に入り] のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

また、リカバリー後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

ただし、SSDをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合は、バックアップをとることができません。また、リカバリーを行っても、SSDに保存されていたデータは復元できません。

## アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、リカバリー後に再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディア（CDなど）が、お手元にあることを確認してください。

また、アプリケーションによっては、ID番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

## 各種設定を確認する

インターネットやLANの設定、Windows サインイン時のアカウント名などの設定項目を控えておいてください。ウイルスチェックソフトなど、セットアップ時に認証キーの入力が必要なアプリケーションは、認証キーの番号を控えておいてください。設定項目や認証キーの番号などの確認方法は、各アプリケーションのヘルプを参照するか、サポート窓口にお問い合わせください。

## 無線通信機能がONであるか確認する

無線通信機能がONであることを確認してください。

ONになっていない場合は、**[FN]** + **[F8]** キーを押して、[機内モード オフ] にしてください。

## 周辺機器を取りはずす

プリンター、マウスなどの周辺機器は取りはずしてください。このとき、パソコン本体の電源を切ってから行ってください。

**参照** 機器の取りはずし『オンラインマニュアル』

本製品をリカバリーする方法について説明します。  
リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

## 1 いくつかある初期状態に戻す方法

リカバリーには、次の方法があります。

- SSDからリカバリーをする
- リカバリーメディアからリカバリーをする

通常はSSDからリカバリーをしてください。

リカバリーメディアからのリカバリーは、SSDのリカバリーツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、SSDからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

**参照** ▶ リカバリーメディアの作成『オンラインマニュアル』

## 2 SSDからパソコンを初期状態に戻す



メモ

- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- [キャンセル] ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、[オプションの選択] 画面が表示されるまで ボタンをクリックし、[PCの電源を切る] ボタンをクリックしてください。  
 ボタンが表示されていない場合は、[キャンセル] ボタンが表示されるまで操作を進めてから [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

次の操作には、ディスプレイを起こし、パソコン本体のキーボードを使用してください。

**参照** ▶ ディスプレイを起こす「1章 **2** - **3** ノートPCモードにするには」

**1** データを保存し、**[SHIFT]** キーを押しながら **[シャットダウン]** をクリックして電源を切る

**参照** ▶ 電源の切りかた「1章 **6** - **1** 電源を切る」

**2** 電源コードとACアダプターを接続する

### 3 電源スイッチを押し、すぐに本体キーボードの[0]（ゼロ）キー（かな入力の[わ]キー）を数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して[ENTER]キーを押してください。

[キーボードレイアウトの選択] 画面が表示された場合は、手順 4 に進んでください。

[オプションの選択] 画面が表示された場合は、手順 5 に進んでください。

### 4 [Microsoft IME] をクリックする

[オプションの選択] 画面が表示されます。

### 5 [トラブルシューティング] をクリックする

[トラブルシューティング] 画面が表示されます。

### 6 [PCを初期状態に戻す] をクリックする

「この操作を行うと：」と表示されます。

### 7 [次へ] ボタンをクリックする

「目的のオペレーティングシステムを選んでください。」と表示された場合は、手順 8 に進んでください。

「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示された場合は、手順 9 に進んでください。

### 8 [Windows 8] をクリックする

「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示されます。

### 9 [ドライブを完全にクリーンアップする] をクリックする

「すべて準備できました」と表示されます。

### 10 [初期状態に戻す] ボタンをクリックする

画面下部に「PCを初期状態に戻しています」と表示され、進行状況がパーセントで表示されます。この間、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。

また、この間は絶対に電源を切らないでください。

以降は画面に従って操作してください。

### 11 Windowsのセットアップを行う

**参照** 詳細について「1章 4 - 1 - 3 Windowsのセットアップ」

### 3 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

**参照** ▶ リカバリーメディアの作成『オンラインマニュアル』

DVDのリカバリーメディアでリカバリーをする場合は、あらかじめ外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続してください。

\*ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作確認は行っておりません。したがって、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

**参照** ▶ 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

#### メモ

- 操作の途中で [キャンセル] ボタンをクリックすると、以降リカバリーメニューが表示されなくなります。

次の操作には、ディスプレイを起こし、パソコン本体のキーボードを使用してください。

**参照** ▶ ディスプレイを起こす「1章 **2** - **3** ノートPCモードにするには」

#### 1 電源コードとACアダプターを接続する

#### 2 リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、「ディスク 1」からセットしてください。  
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

#### 3 データを保存し、**[SHIFT]** キーを押しながら **[シャットダウン]** をクリックして電源を切る

**参照** ▶ 電源の切りかた「1章 **6** - **1** 電源を切る」

#### 4 電源スイッチを押し、すぐに **[F12]** キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **[ENTER]** キーを押してください。

#### 5 **[↑]** または **[↓]** キーで起動ドライブを選択する

リカバリーメディアがDVDの場合は外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目（[USB ODD] など）、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（[USB Memory] など）を選択し、**[ENTER]** キーを押してください。

#### ■ 表示言語を選択する画面が表示された場合

[日本語] を選択し、[次へ] ボタンをクリックしてください。

「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示されます。



## 6 [TOSHIBA Recovery Wizard] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

警告メッセージ画面が表示されます。

## 7 画面の内容を確認し、[はい] ボタンをクリックする

[復元方法の選択] 画面が表示されます。

## 8 [初期インストールソフトウェアの復元] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

[ハードディスク上の全データの消去] は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、SSDのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、SSD上にある、すべてのデータが削除されます。

**参照** ▶ 「4章 2 - 2 SSDの内容をすべて消去する」

「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

## 9 [次へ] ボタンをクリックする

[次へ] ボタンをクリックすると、復元が実行され、[パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。] 画面が表示されます。

長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

復元中は、リカバリーの経過に従い、画面が変わります。

\*最初に [コピーしています。] 画面が表示される場合があります。長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、メディアを入れ替えるメッセージが表示され、リカバリーメディアを取り出せる状態になります。メディアの番号順に入れ替え、[OK] ボタンをクリックしてください。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

## 10 リカバリーメディアの種類により次の操作を行う

### ■ DVDの場合

- ① [終了] ボタンをクリックする  
自動的にリカバリーメディアを取り出せる状態になります。
- ② リカバリーメディアを取り出す

### ■ USBフラッシュメモリの場合

- ① USBフラッシュメモリを取りはずす
- ② [終了] ボタンをクリックする

[しばらくお待ちください。] 画面が表示されます。  
ここから次の手順の [ライセンス条項] 画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。  
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

## 11 Windowsのセットアップを行う

**参照**▶ 詳細について「1章 **4** - **1** - **3** Windowsのセットアップ」

購入後に変更した設定がある場合は、Windowsのセットアップ後に、もう一度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windowsのセットアップ後に行ってください。

その他必要に応じて、インターネットやメールの再設定、ウイルスチェックソフトの設定や更新などが必要です。



- Office搭載モデルの場合、リカバリー後、「Office」のライセンス認証が必要になります。

**参照**▶ 詳細について「はじめに - 13 「Office」のライセンス認証について」

- 一部のアプリケーションは、リカバリー後に再インストールをする必要があります。

**参照**▶ 詳細について「本章 4 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

## 1 バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。

アプリケーションによってバックアップ方法や復元方法が用意されている場合は、その方法に従って復元してください。

本製品にプレインストールされているアプリケーションは、一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバーを指定して再インストールすることができます。

同じアプリケーションがすでにインストールされているときは、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。

アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

## 1 操作手順

**1** スタート画面のタイルのない部分で、右クリックする

**2** [すべてのアプリ] をクリックする

**3** [  アプリケーションの再インストール ] をクリックする

**4** [セットアップ画面へ] をクリックする

アプリケーションやドライバーのセットアップメニュー画面が表示されます。アプリケーションやドライバーのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。

タブをクリックして再インストールしたいアプリケーションを探してください。

画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。

画面右側にはアプリケーションの説明が書かれていますので、よくお読みください。

**5** 画面左側のアプリケーション名を選択し、画面右側の [「XXX」のセットアップ] をクリックする

「XXX」にはアプリケーション名が入ります。

選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。説明文の下の、下線が引かれている言葉をクリックしてください。

**6** 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

「XXXXXX（ファイル名）を実行または保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、[実行] ボタンをクリックしてください。



メモ

- [アプリケーションの再インストール] にないアプリケーションは、Windowsストアからダウンロードできる場合があります。

# 4章

## ■ 困ったときは

パソコンの操作をされていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解消方法を探してみてください。

また、パソコン本体を捨てるときや人に譲るときに知っておいて欲しいことを説明しています。

1 Q&A集.....	70
2 捨てるとき／人に譲るとき.....	81

ここに掲載しているQ&A集のほかに、『オンラインマニュアル』にもQ&A集があります。目的の項目が見つからないときは、『オンラインマニュアル』も参照してください。

<b>1</b>	<b>電源を入れるとき／切るとき</b> .....	<b>71</b>
	Q 電源スイッチを押して指をはなしても、Power LEDが点灯しない.....	71
	Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう 電源が入らない.....	71
	Q 電源を入れたが、システムが起動しない.....	72
	Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある .....	72
	Q しばらく操作しないとき、電源が切れる.....	73
<b>2</b>	<b>画面／表示</b> .....	<b>74</b>
	Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった.....	74
	Q 画面表示が回転してしまった.....	74
<b>3</b>	<b>システム／SSD</b> .....	<b>75</b>
	Q パソコンが応答しなくなった.....	75
	Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない .....	75
<b>4</b>	<b>タッチパネル</b> .....	<b>76</b>
	Q 画面にタッチしても反応しない.....	76
<b>5</b>	<b>メッセージ</b> .....	<b>76</b>
	Q 「Password =」 と表示された .....	76
	Q 「HDD/SSD Password =」 と表示された.....	76
	Q 起動時に「RTC battery is low Check system. Then press [F2] key.」 と表示され、 Windowsが起動しない.....	77
	Q 起動時に「Intel(R) AT system lock due to: Stolen Message Received ...」 というメッセージが表示された .....	78
	Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された .....	78
	Q 次のようなメッセージが表示された .....	78
	Q その他のメッセージが表示された .....	79
<b>6</b>	<b>その他</b> .....	<b>79</b>
	Q SSDからパソコンを初期状態に戻せなくなったときは.....	79
	Q 異常なおいや過熱に気づいた！ .....	79
	Q 操作できない原因がどうしてもわからない.....	80

# 1 電源を入れるとき／切るとき

## Q 電源スイッチを押して指をはなしても、Power LEDが点灯しない

- A**▶ 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。  
確実に電源スイッチを押してください。Power LEDが点灯することを確認してください。

## Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう 電源が入らない

- A**▶ バッテリーの充電量が少ない可能性があります。  
本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。  
(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

**参照**▶ バッテリーの充電について『オンラインマニュアル』

- A**▶ パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。

また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。

- A**▶ パソコン本体からいったん、電源コードとACアダプターを取りはずしてください。

- ① 電源コードとACアダプターを取りはずす

パソコンに接続している周辺機器も取りはずしてください。

電源コードとACアダプターを取りはずしたままの状態、しばらく放置してください。

- ② 電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

- ③ 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。Power LEDが点灯することを確認してください。

**参照**▶ 電源コードとACアダプターの接続

「1章 4 - 1 - 1 電源コードとACアダプターを接続する」

以上の手順でも解決できない場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

## Q 電源を入れたが、システムが起動しない

**A**▶ 起動ドライブをSSD以外に設定した場合に、システムの入っていない記録メディアがセットされている可能性があります。

システムが入っている記録メディアと取り換えるか、またはドライブから記録メディアを取り出してから、何かキーを押してください。

それでも正常に起動しない場合は、ディスプレイを起こし、パソコン本体のキーボードを使用して次のように操作してください。

**参照**▶ ディスプレイを起こす「1章 2 - 3 ノートPCモードにするには」

① 電源スイッチを5秒以上押して電源を切る

② 電源スイッチを押し、すぐに **F12** キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **ENTER** キーを押してください。

③ 表示されたメニューからシステムの入っているドライブ（通常はSSDを示す項目）を **↑** **↓** キーで選択し、 **ENTER** キーを押す

## Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある

**A**▶ パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。

また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。

それでも電源が切れる場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

**A**▶ バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。

本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。

（他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません）

**参照**▶ バッテリーの充電について『オンラインマニュアル』



## Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

**A**▶ Power LEDが白色に点灯している場合、省電力機能が働いた可能性があります。しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。

**SHIFT** キーを押すか、タッチパッドを操作すると表示が復帰します。




テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

**A**▶ Power LEDがオレンジ色に点滅しているか、消灯の場合、自動的にスリープまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないと、自動的にスリープまたは休止状態にするように設定されています。

復帰させるには、電源スイッチを押してください。

また、次の手順で設定を解除できます。

- ① スタート画面の [デスクトップ] をクリックする  
デスクトップ画面が表示されます。
- ② [デスクトップアプリメニュー] アイコン (  ) をダブルクリックする  
「東芝デスクトップアプリメニュー」が起動します。
- ③ [コントロールパネル] をクリックする
- ④ [  システムとセキュリティ ] → [  電源オプション ] をクリックする
- ⑤ 利用する電源プランを選択し、[プラン設定の変更] をクリックする
- ⑥ [ディスプレイの電源を切る] および [コンピューターをスリープ状態にする] で [適用しない] を選択する  
[バッテリー駆動] と [電源に接続] にそれぞれ設定してください。
- ⑦ [変更の保存] ボタンをクリックする

## 2 画面／表示

## Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった

- A**▶ 電源スイッチを5秒以上押してWindowsを強制終了してください。  
システムが操作できなくなったとき以外には行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

- A**▶ 以上の手順でも解決できない場合は、「本節 3 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

## Q 画面表示が回転してしまった

- A**▶ パソコン本体を傾けて調節してください。  
次の手順で元に戻すことができます。
- ① パソコン本体を持ち上げて、表示したい方向に傾ける
  - ② そのまま向きを固定したい場合は、オリエンテーションロックボタンを押し、画面回転をロックする

**参照**▶ 『オンラインマニュアル』

- A**▶ タッチパッドを3本指で1回タッチしてください。  
タッチパッドを3本指で1回タッチすると、画面が180°回転します。

**参照**▶ 『オンラインマニュアル』

- A**▶ 画面の設定が変更されている可能性があります。

次の手順で元に戻すことができます。

- ① スタート画面の [デスクトップ] をクリックする  
デスクトップ画面が表示されます。
- ② デスクトップ画面上的ウィンドウやアイコンなどが表示されていない場所にポインターを移動し、右クリックする
- ③ 表示されたメニューから [画面の解像度] をクリックする
- ④ [向き] で表示したい方向を選択する
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする
- ⑥ [変更を維持する] ボタンをクリックする

### 3 システム/SSD

#### Q パソコンが応答しなくなった

**A**▶ アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、パソコンを再起動してください。

**参照**▶ 再起動「1章 6 - 1 - 再起動」

**A**▶ Windows 起動時に問題が起きた場合や、パソコンを再起動できない場合は、電源スイッチを5秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ/休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

**A**▶ 以上の手順でも解決できない場合は、「本項 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

#### Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

**A**▶ アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがWindowsの動作に影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

**参照**▶ アンインストール『アプリケーションに付属の説明書』

**A**▶ 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がWindowsの動作に影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションをパソコンにインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

**参照**▶ 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属の説明書』

## 4 タッチパネル

## Q 画面にタッチしても反応しない

**A**▶ 画面に異物が付着している可能性があります。  
保護フィルムを貼っている場合は、フィルムをはがしてください。

**A**▶ つめの先では操作できません。  
指で操作してください。

**A**▶ 手袋を着けたままでは操作できません。  
手袋をはずして操作してください。

**A**▶ 指が汗や水でぬれている状態では操作できません。  
水分をふき取ってから操作してください。

## 5 メッセージ

## Q 「Password =」 と表示された

**A**▶ 「デスクトップアプリメニュー」の【ユーザーパスワード】またはBIOSセットアップで設定したパスワードを入力し、**ENTER** キーを押してください。  
パスワードを忘れた場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。有料にてパスワードを解除します。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

## Q 「HDD/SSD Password =」 と表示された

**A**▶ BIOSセットアップで設定したHDDパスワードを入力し、**ENTER** キーを押してください。  
HDDパスワードを忘れてしまった場合は、SSDは永久に使用できなくなり、交換対応となります。東芝PCあんしんサポートに連絡してください。交換対応は有料です。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

**起動時に「RTC battery is low  
Check system. Then press [F2] key.」と表示され、  
Windowsが起動しない**

**A**▶ 時計用バッテリーが不足しています。

時計用バッテリーは、電源コードとACアダプターを接続し電源を入れているときに充電されます。

**参照**▶ 時計用バッテリーについて『オンラインマニュアル』

ディスプレイをを起こして電源コードとACアダプターを接続後、パソコン本体のキーボードから次の手順でBIOSセットアップの日付と時刻を設定してください。

**参照**▶ ディスプレイを起こす「1章 **2** - **3** ノートPCモードにするには」

- ① **[F2]** キーを押す  
BIOSセットアップ画面が表示されます。
- ② **[↑]** **[↓]** キーを使って、[System Time] を選択し、**[TAB]** キーを使って、時間、分、秒を選択後、**[F6]**、**[F7]** キーで時刻を設定する
- ③ **[↑]** **[↓]** キーを使って、[System Date] を選択し、**[TAB]** キーを使って、月、日、年を選択後、**[F6]**、**[F7]** キーで日付を設定する
- ④ **[F10]** キーを押す  
確認のメッセージが表示されます。
- ⑤ **[Y]** キーを押す  
設定内容が有効になり、BIOSセットアップが終了します。パソコンが再起動します。

メッセージが表示されたまま1分以上経過すると、自動的に電源が切れます。

電源スイッチを押し、すぐに**[F2]** キーを押して、BIOSセットアップを起動し、日付と時刻を設定してください。

## Q 起動時に「Intel(R) AT system lock due to: Stolen Message Received …」というメッセージが表示された

**A**▶ 「マカフィー・アンチセフト」によってパソコンがロックされました。

「マカフィー・アンチセフト」のセットアップ後、一定期間パソコンをインターネットに接続せず、アンチセフトサーバーと同期しなかった場合や、時計用バッテリーが不足した場合など、ロックの機能が動作して起動時にロック解除用のパスワードの入力が必要になる場合があります。

次の手順でパスワードを入力してください。

① **[1]** キーを押す

② 「マカフィー・アンチセフト」で、ロック解除用に登録したパスワードを入力し、**[ENTER]** キーを押す

ロック解除用に登録したパスワードを忘れた場合は、マカフィー・テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。その際、登録したメールアドレスが必要となります。ロック解除用に登録したメールアドレスを忘れた場合、パソコンのロック解除ができません。

**参照**▶ マカフィー・テクニカルサポートセンター  
 (「マカフィーアンチセフト インストールウィザード」のお問い合わせ先)  
 「付録 2 - 2」アプリケーションのお問い合わせ先

## Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

**A**▶ 日付と時刻を設定してください。

Windows Update やアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

**参照**▶ 日付と時刻の設定について『Windows ヘルプとサポート』

## Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」
- 「Remove disks or other media.Press any key to restart」
- 「NTLDR is missing Press any key to restart」

**A**▶ CD/DVDや、USBフラッシュメモリなどの起動ディスクを取り出し、何かキーを押してください。

上記の操作を行っても解決しない場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

## Q その他のメッセージが表示された

**A**▶ 『使用しているシステムやアプリケーションに付属の説明書』を確認してください。

## 6 その他

## Q SSDからパソコンを初期状態に戻せなくなったときは

**A**▶ SSDに搭載されている初期状態に戻すためのツール（システムを復元するためのもの）のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、パソコンを初期状態に戻せなくなることがあります。

「TOSHIBA Recovery Media Creator」で作成したリカバリーメディアを使って、リカバリーしてください。

**参照**▶ リカバリーの操作方法

「3章 **2** - **3** リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す」

リカバリーメディアがない場合は、修理が必要になる可能性があります。東芝PCあんしんサポートに相談してください。

**参照**▶ 修理のお問い合わせについて『東芝PCサポートのご案内』

## Q 異常なおいや過熱に気づいた！

**A**▶ パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してから東芝PCあんしんサポートに相談してください。

なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

**参照**▶ 修理のお問い合わせについて『東芝PCサポートのご案内』

**Q** 操作できない原因がどうしてもわからない

**A**▶ 『オンラインマニュアル』の「トラブル対処法」を確認してください。  
『オンラインマニュアル』の「トラブル対処法」では、トラブルを解決するための対処手順を説明しています。ご確認ください。

**参照**▶ 『オンラインマニュアル』

.....

**A**▶ パソコン本体のトラブルの場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

.....

**A**▶ OSやアプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

**参照**▶ OSやアプリケーションのお問い合わせ先「付録 2 お問い合わせ先」

.....

**A**▶ 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

**参照**▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』



パソコンを捨てたり人に譲ったりする前に、お客様登録を削除したり、SSDの内容を消去してください。

## 1 お客様登録の削除について

### ● ホームページから削除する

東芝ID (TID) をお持ちの場合はこちらからお願いします。

- ① インターネットで「<http://toshibadirect.jp/room1048/>」へ接続する
- ② ページ右の [ログイン] をクリックする  
[ログイン] 画面が表示されます。
- ③ [東芝ID (TID)] と [パスワード] に入力し、[ログイン] ボタンをクリックする  
マイページが表示されます。
- ④ ページ右下の [退会] をクリックする

※ 退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、マイページの「登録済み商品一覧」で商品削除を行ってください。

※ Room1048を退会されると、「東芝ダイレクト」での購入履歴やRoom1048会員限定サービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

### ● 電話で削除する

「東芝ID事務局 (お客様情報変更)」までご連絡ください。

#### ● 東芝ID事務局 (お客様情報変更)

TEL : 0570-09-1048 (ナビダイヤル)

受付時間 : 10:00~17:00 (土・日、祝日、東芝特別休日を除く)

紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。

技術的なご相談や修理に関するお問い合わせは、『東芝PCサポートのご案内』を確認してください。

またリサイクルに関しては、『東芝PCサポートのご案内』を参照してください。

## 2 SSDの内容をすべて消去する

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

なお、SSDに保存されている、データやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

### 操作手順

SSDの内容を削除するには、SSDの消去機能、または作成したリカバリーメディアを使用します。SSDの消去機能を使用すると、SSD内のデータはすべて消去されますが、初期状態に戻す機能は残ります。作成したリカバリーメディアを使用すると、SSD内のデータと共に初期状態に戻す機能も消去されます。

#### ■ SSDの消去機能から行う方法

次の操作には、ディスプレイを起こし、パソコン本体のキーボードを使用してください。

**参照** ▶ ディスプレイを起こす「1章 2 - 3 ノートPCモードにするには」

**1** データを保存し、**[SHIFT]**キーを押しながら**[シャットダウン]**をクリックして電源を切る

**参照** ▶ 電源の切りかた「1章 6 - 1 電源を切る」

**2** 電源コードとACアダプターを接続する

**3** 電源スイッチを押し、すぐに本体キーボードの**[0]**（ゼロ）キー（かな入力の**[わ]**キー）を数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して**[ENTER]**キーを押してください。

[キーボードレイアウトの選択] 画面が表示された場合は、手順**4**に進んでください。

[オプションの選択] 画面が表示された場合は、手順**5**に進んでください。

**4** **[Microsoft IME]**をクリックする

[オプションの選択] 画面が表示されます。

**5** **[トラブルシューティング]**を選択する

[トラブルシューティング] 画面が表示されます。

**6** **[TOSHIBA Maintenance Utility]**を選択する

「目的のオペレーティングシステムを選んでください。」と表示された場合は、手順**7**に進んでください。

消去方法を選択する画面が表示された場合は、手順**8**に進んでください。

**7** [Windows 8] をクリックする

消去方法を選択する画面が表示されます。

**8** 目的に合わせて、[標準データの消去] または [機密データの消去] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

通常は [標準データの消去] を選択してください。データを読み取れなくなります。より確実にデータを消去するためには、[機密データの消去] を選択してください。数時間かかりますが、データは消去されます。

[データの消去を開始します。] 画面が表示されます。

**9** [次へ] ボタンをクリックする

処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

[次へ] ボタンをクリックすると消去が実行されます。

消去が完了すると、終了画面が表示されます。

**10** [終了] ボタンをクリックする

## ■ リカバリーメディアから行う方法

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

**参照** ▶ リカバリーメディアの作成『オンラインマニュアル』

DVDのリカバリーメディアを使用する場合は、あらかじめ外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続してください。

**参照** ▶ 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

\* ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作確認は行っておりません。したがって、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

次の操作には、ディスプレイを起こし、パソコン本体のキーボードを使用してください。

**参照** ▶ ディスプレイを起こす「1章 **2** - **3** ノートPCモードにするには」

**1** 電源コードとACアダプターを接続する**2** リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、「ディスク 1」からセットしてください。USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

**3** データを保存し、**[SHIFT]** キーを押しながら **[シャットダウン]** をクリックして電源を切る

**参照** ▶ 電源の切りかた「1章 **6** - **1** 電源を切る」

**4** 電源スイッチを押し、すぐに **F12** キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **ENTER** キーを押してください。

**5** **↑** または **↓** キーで起動ドライブを選択する

リカバリーメディアがDVDの場合は外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目（[USB ODD] など）、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（[USB Memory] など）を選択し、**ENTER** キーを押してください。

■ 表示言語を選択する画面が表示された場合

[日本語] を選択し、[次へ] ボタンをクリックしてください。

[TOSHIBA Recovery Wizard] か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示されます。

**6** [TOSHIBA Recovery Wizard] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

警告メッセージ画面が表示されます。

**7** 画面の内容を確認し、[はい] ボタンをクリックする

**8** [ハードディスク上の全データの消去] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

消去方法を選択する画面が表示されます。

以降は、「本節 **2** -SSDの消去機能から行う方法」の手順 **8** 以降を参照してください。

# 付録

本製品の機能を使用するにあたってのお願いや技術基準適合などについて記しています。

1	ご使用にあたってのお願い	86
2	お問い合わせ先 - OS/アプリケーション -	88
3	技術基準適合について	92
4	無線LAN/Bluetoothについて	94

# 1

## ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

### 1 パソコン本体について

#### スイッチ／ボタンの操作にあたって

- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。スイッチ／ボタンが故障するおそれがあります。

#### 機器への強い衝撃や外圧について

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- パソコンの表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。取り扱いにはご注意ください。

#### タッチパッドの操作にあたって

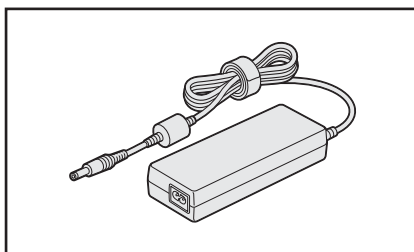
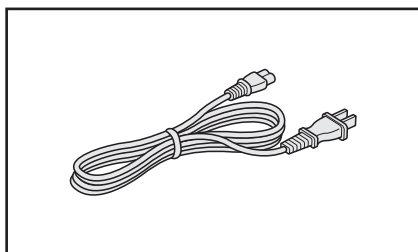
- タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。タッチパッドが故障するおそれがあります。

#### 画面のタッチ操作にあたって

- 画面をタッチするときは、強く押さないでください。
- 画面は指で操作してください。先のとがったものや硬いもの（つまめ、鉛筆、ボールペンなど）で画面をタッチしたり押さえつけたりしないでください。画面を傷つけるおそれがあります。
- 画面に保護フィルムを貼らないでください。保護フィルムを貼ると、タッチ操作が正しく行われずおそれがあります。

### 2 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- 電源コードやケーブルは束ねずに、ほどいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードやACアダプターを持ち運ぶときには、次の図のように正しくケーブルを束ねてください。電源コード、ACアダプターは、購入されたモデルにより異なります。



### 3 周辺機器について

#### パソコン本体への機器の取り付け／取りはずしについて

- 取り付け／取りはずしの方法は機器によって違います。『オンラインマニュアル』を読んでから作業をしてください。またその際には、次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
  - ・ ホットインサージョンに対応していない機器を接続する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから作業を行ってください。ホットインサージョンとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
  - ・ 適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
  - ・ ほこりが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
  - ・ 極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
  - ・ 静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
  - ・ 本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
  - ・ パソコン本体のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
  - ・ パソコン本体のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

### 4 GPSについて

- 本製品には、GPS機能が搭載されています。
- GPSや測定場所の状態により、現在地が表示できない可能性があります。現在地の情報は、端末側から位置情報を得ており、その情報の精度によって現在地が検出できない可能性があります。具体的には、以下のような場所や状態では、現在地がずれたり、検出できない可能性があります。
  - ・ 建物の中や直下
  - ・ かばんや箱の中
  - ・ 密集した樹木の中
  - ・ アンテナ前面部に障害物（人や物）がある場合
  - ・ 地価やトンネル、地中、水中
  - ・ ビル街や住宅密集地
  - ・ 高圧線の近く
  - ・ 大雨、雪などの悪天

# 2

## お問い合わせ先

### — OS / アプリケーション —

本製品に用意されているOS、アプリケーションのお問い合わせ先を紹介しています。  
各アプリケーションを使っていて困ったときは、こちらに連絡してください。

\* 2013年1月現在の内容です。

各社の事情で、受付時間などに変更になる場合があります。

## 1 OSのお問い合わせ先

Windows 8に関する一般的な問い合わせ先は、東芝PCあんしんサポートになります。

Windows 8に関する一般的なサポート情報は、以下のホームページでもご確認ください  
ができます。

<http://support.microsoft.com>



## 2 アプリケーションのお問い合わせ先

各アプリケーションのユーザー登録については、それぞれのお問い合わせ先までお問い合わせください。

用意されているアプリケーションはご購入のモデルにより異なります。

### Excel 2013/OneNote 2013/Outlook 2013/PowerPoint 2013/Word 2013

#### 日本マイクロソフト株式会社 サポート受付窓口

##### ●基本操作に関するお問い合わせ

##### <メール サポート>

以下の Web サイトにアクセスし、ご質問または問題に関連する製品を選択してください。

ホームページ : <http://support.microsoft.com/oas/>

受付時間 : 24 時間いつでも受け付けています。

##### <電話サポート>

フリーダイヤル : 0120-54-2244

※ 下記番号へのお問い合わせの場合は通信費はお客様負担

東京 03-4332-5458 大阪 06-6530-4231

※ ご利用の際は、電話番号をお間違えないようご注意ください。

※ 音声ガイダンスが流れますので、ガイダンスに従って番号のご選択をお願いいたします。

受付時間 : 月曜日～金曜日 : 9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 19:00

土曜日 : 10:00 ~ 17:00

(祝日、日本マイクロソフト株式会社指定休業日を除きます。日本マイクロソフト株式会社指定休業日以外で日曜日が祝日である場合には、日曜日は上記土曜日と同様の受付を行い、翌日の振替休日が休業となります。)

● サポート有効期間 : お客様が初めてお問い合わせいただいた日から起算して90日間 (※)

※ サポート ライフサイクル期間内

● ホームページ : <http://support.microsoft.com/select/>

お問い合わせに関する詳細は、本体に同梱されている冊子『Office お使いになる前に』をご覧ください。

### ウイルスバスター2012 クラウド™ 90日版

#### ウイルスバスターサービスセンター

受付時間 : 9:30~17:30

TEL : 0570-008326

03-5334-1035 (IP電話・光電話からのお問い合わせ)

E-mail : <http://tmqa.jp/r924/>

ホームページ : <http://tmqa.jp/toshiba/>

## マカフィーアンチセフト インストールウィザード

### マカフィー・テクニカルサポートセンター

(マカフィーアンチセフトに関する技術的な問い合わせ)

- 受付時間 : 9:00~21:00 (年中無休)  
TEL : 0570-060-033 (ナビダイヤル)  
03-5428-2279 (ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用)  
E-mail : 以下のWeb フォームをご利用ください。  
[http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter\\_inquiry\\_ts.asp](http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_inquiry_ts.asp)  
ホームページ : [http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/faq/answer\\_p\\_spec.asp?wk=SP-00055](http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/faq/answer_p_spec.asp?wk=SP-00055)

### マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

(ユーザー登録や登録情報変更などの製品以外に関する問い合わせ)

- 受付時間 : 月曜~金曜 : 9:00~17:00 (年末年始、祝日を除く)  
TEL : 0570-030-088 (ナビダイヤル)  
03-5428-1792 (ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用)  
E-mail : 以下のWeb フォームをご利用ください。  
[http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter\\_inquiry\\_coc.asp](http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_inquiry_coc.asp)  
ホームページ : [http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/faq/answer\\_p\\_spec.asp?wk=SP-00055](http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/faq/answer_p_spec.asp?wk=SP-00055)

### マカフィー・インフォメーションセンター

(製品購入前の製品に関する問い合わせ、サイト評価に関する問い合わせ)

- 受付時間 : 月曜~金曜 : 9:00~17:00 (年末年始、祝日を除く)  
TEL : 0570-010-220 (ナビダイヤル)  
03-5428-1899 (ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用)  
E-mail : 以下のWeb フォームをご利用ください。  
[http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/msup/information\\_center.asp](http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/msup/information_center.asp)  
ホームページ : [http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/faq/answer\\_p\\_spec.asp?wk=SP-00055](http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/faq/answer_p_spec.asp?wk=SP-00055)

マカフィー・テクニカルサポートセンターではチャットによるサポートもご提供しています。

- チャット : <http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp>

## i-フィルター6.0 (90日版)

## デジタルアーツ株式会社 サポートセンター

受付時間 : 10:00~18:00

(デジタルアーツ指定休業日を除く)

TEL : 0570-00-1334

E-mail : p-support@daj.co.jp

ホームページ : 【よくある質問】 <http://www.daj.jp/cs/support/pc/if6/>  
 【お問い合わせフォーム】 <http://www.daj.jp/ask/>

## その他のアプリケーション

※本製品を購入後に追加したアプリケーションに関しては、製造元各社へお問い合わせください。

## 東芝 (東芝PCあんしんサポート)

全国共通電話番号 : 0120-97-1048 (通話料・電話サポート料無料)

おかけいただくと、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って操作してください。

技術的な質問、お問い合わせは、ガイダンスの後で **1** を押ししてください。

技術相談窓口 受付時間 : 9:00~19:00 (年中無休)

[電話番号はおまちがえないよう、ご確認の上おかけください]

海外からの電話、携帯電話、PHS、一部のIP電話および直取引線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780 (通話料お客様負担) にお問い合わせください。

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。日程は、サポートサイト ([http://dynabook.com/assistpc/index\\_j.htm](http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm)) にてお知らせいたします。

お客様の個人情報の取り扱い全般に関する当社の考えかたをご覧になりたいかたは、(株)東芝の個人情報保護方針のページ ([http://www.toshiba.co.jp/privacy/index\\_j.htm](http://www.toshiba.co.jp/privacy/index_j.htm)) をご覧ください。

『オンラインマニュアル』にも技術基準適合に関する説明が記載されています。本書だけでなく、『オンラインマニュアル』の記載もあわせてご確認ください。

#### ■ 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

#### ■ 電波障害自主規制について

参照 ▶ 『オンラインマニュアル』

#### ■ 「FCC information」について

参照 ▶ 『オンラインマニュアル』

#### ■ EU Declaration of Conformityについて



This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is TOSHIBA EUROPE GMBH, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany. The complete and official EU Declaration of Conformity can be found on TOSHIBA's web site

<http://epps.toshiba-teg.com> on the Internet.

## CE compliance

This product is labelled with the CE Mark in accordance with the related European Directives, notably RoHS Directive 2011/65/EU and Electromagnetic Compatibility Directive 2004/108/EC for the notebook and the electronic accessories including the supplied power adapter, the Radio Equipment and Telecommunications Terminal Equipment Directive 1999/5/EC in case of implemented telecommunication accessories and the Low Voltage Directive 2006/95/EC for the supplied power adapter. Furthermore the product complies with the Ecodesign Directive 2009/125/EC (ErP) and its related implementing measures.

This product and the original options are designed to observe the related EMC (Electromagnetic Compatibility) and safety standards. However, TOSHIBA cannot guarantee that this product still observes these EMC standards if options or cables not produced by TOSHIBA are connected or implemented. In this case the persons who have connected/implemented those options/cables have to provide assurance that the system (PC plus options/cables) still fulfils the required standards. To avoid general EMC problems, the following guidance should be noted:

- Only CE marked options should be connected/implemented
- Only best shielded cables should be connected

## Working environment

This product was designed to fulfil the EMC (Electromagnetic Compatibility) requirements to be observed for so-called “Residential, commercial and light industry environments”. TOSHIBA do not approve the use of this product in working environments other than the above mentioned “Residential, commercial and light industry environments”.

For example, the following environments are not approved:

- Industrial Environments (e.g. environments where a mains voltage of 380 V three-phase is used)
- Medical Environments
- Automotive Environments
- Aircraft Environments

Any consequences resulting from the use of this product in working environments that are not approved are not the responsibility of TOSHIBA.

The consequences of the use of this product in non-approved working environments may be:

- Interference with other devices or machines in the near surrounding area.
- Malfunction of, or data loss from, this product caused by disturbances generated by other devices or machines in the near surrounding area.

Therefore TOSHIBA strongly recommend that the electromagnetic compatibility of this product should be suitably tested in all non-approved working environments before use. In the case of automobiles or aircraft, the manufacturer or airline respectively should be asked for permission before use of this product.

Furthermore, for general safety reasons, the use of this product in environments with explosive atmospheres is not permitted.

- \* Bluetooth機能については、Bluetooth機能搭載モデルのみ対象となります。
- \* 5GHzの無線LANについては、IEEE802.11aをサポートしているモデルのみ対象となります。

## 1 無線LANの概要

本製品には、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11nのすべて、もしくはその一部に準拠した無線LANが搭載されています。

本書では、搭載された無線LANの種類によって説明が異なる項目があります。

使用しているパソコンに搭載された無線LANの種類の確認については、次の説明を確認してください。

参照 ▶ 『オンラインマニュアル』

### ■ 無線LANの仕様

無線周波数帯	IEEE802.11a, IEEE802.11n	5GHz (5150-5350MHz、および 5470-5725MHz)
	IEEE802.11b, IEEE802.11g, IEEE802.11n	2.4GHz (2400-2483MHz)
変調方式	IEEE802.11a, IEEE802.11g	直交周波数分割多重方式 OFDM-BPSK, OFDM-QPSK, OFDM-16QAM, OFDM-64QAM
	IEEE802.11b	直接拡散方式 DSSS-CCK, DSSS-DQPSK, DSSS-DBPSK
	IEEE802.11n	直交周波数分割多重方式 (OFDM方式)

## 2 無線LANのサポートする周波数帯域

無線LANがサポートする5GHz帯および2.4GHz帯のチャンネルは、国/地域で適用される無線規制によって異なる場合があります（表「無線IEEE802.11 チャンネルセット」参照）。

### ■無線IEEE802.11 チャンネルセット

- 5GHz帯：5150-5350MHz および、5470-5725MHz  
（IEEE802.11a、IEEE802.11nの場合）

	チャンネルID	周波数
W52	36	5180
	40	5200
	44	5220
	48	5240
W53	52	5260
	56	5280
	60	5300
	64	5320
W56	100	5500
	104	5520
	108	5540
	112	5560
	116	5580
	120	5600
	124	5620
	128	5640
	132	5660
	136	5680
	140	5700

アクセスポイント側のチャンネル（W52/W53/W56）に合わせて、そのチャンネルに自動的に設定されます。

### メモ

- W52、W53は電波法令により屋外で使用することはできません。
- IEEE802.11aおよびIEEE802.11nモードではアドホック通信は使用できません。
- アドホック通信でのピアツーピア接続は、Ch1～Ch11で使用できます。
- インフラストラクチャ通信でのアクセスポイントへの接続は、Ch1～Ch13、Ch36、Ch40、Ch44、Ch48、Ch52、Ch56、Ch60、Ch64、Ch100、Ch104、Ch108、Ch112、Ch116、Ch120、Ch124、Ch128、Ch132、Ch136、Ch140で使用できます。

- 2.4GHz帯：2400-2483MHz (IEEE802.11b/g、IEEE802.11nの場合)

チャンネルID	周波数
1	2412
2	2417
3	2422
4	2427
5	2432
6	2437
7	2442
8	2447
9	2452
10	2457 <sup>*1</sup>
11	2462
12	2467
13	2472

\*1 購入時に、アドホックモード接続時に使用するチャンネルとして設定されているチャンネルです。

### メモ

- IEEE802.11nモードではアドホック通信は使用できません。
- アドホック通信でのピアツーピア接続は、Ch1～Ch11で使用できます。
- インフラストラクチャ通信は、Ch1～Ch13で使用できます。



### 3 Bluetoothの仕様

ワイヤレス通信	通信方式	Bluetooth Specification Ver.4.0
	無線周波数帯	2.4GHz (2402~2480MHz)
	変調方式	周波数ホッピング方式 2値FSK

### 4 無線特性

無線LANおよびBluetoothの無線特性は、製品を購入した国/地域、購入した製品の種類により異なる場合があります。

多くの場合、無線通信は使用する国/地域の無線規制の対象になります。国/地域によって使用が規制されています。無線ネットワーク機器は、無線免許の必要ない5GHzおよび2.4GHz帯で動作するように設計されていますが、国/地域の無線規制により無線ネットワーク機器の使用に多くの制限が課される場合があります。

無線機器の通信範囲と転送レートには相関関係があります。無線通信の転送レートが低いほど、通信範囲は広くなります。



メモ

- アンテナの近くに金属面や高密度の固体があると、無線デバイスの通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- 無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る"障害物"がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

## 5 本製品を日本でお使いの場合のご注意

日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2,400MHz～2,483.5MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz～2,470.75MHzと重複しています。

### ■ステッカー

本製品を日本国内にてご使用の際には、本製品に付属されている次のステッカーをパソコン本体に貼り付けてください。

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

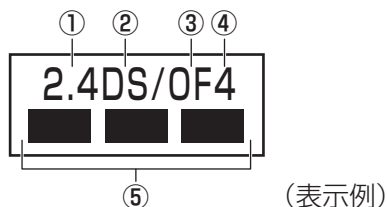
### ■東芝PCあんしんサポート

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、『東芝PCサポートのご案内』を参照してください。

## 無線LAN

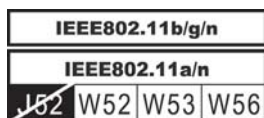
### ■ 現品表示

本製品または無線LANモジュールには、次に示す現品表示が記載されています。



- ① 2.4 : 2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。
- ② DS : 変調方式がDS-SS方式であることを示す。
- ③ OF : 変調方式がOFDM方式であることを示す。
- ④ 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示す。
- ⑤ ■ ■ ■ : 2,400MHz~2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

### ■ JEITAロゴ表記について

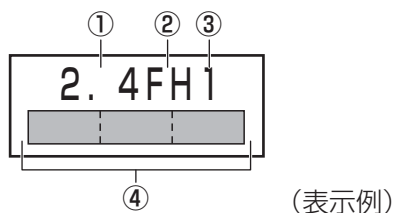


5GHz帯無線LANは、W52/W53/W56チャンネルをサポートしています。

## Bluetooth

### ■ 現品表示

本製品またはBluetoothモジュールには、次に示す現品表示が記載されています。



- ① 2.4 : 2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。
- ② FH : 変調方式がFH-SS方式であることを示す。
- ③ 1 : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示す。
- ④ ■■■■■ : 2,400MHz~2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する。

### 6 機器認証表示について

本製品には、電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、認証を受けた無線設備を搭載しています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

#### ■ Qualcomm Atheros 946x a/b/g/n モジュールの場合（Bluetooth機能搭載）

無線設備名 : AR5B22

株式会社 ディーエスピーリサーチ

認証番号 : D111398003

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品に実装して使用することを前提に、小電力データ通信システムの無線局として工事設計の認証を取得しています。したがって、組み込まれた無線設備をほかの機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触するおそれがありますので、十分にご注意ください。

## 7 お知らせ

### 無線製品の相互運用性

#### ■無線LAN

本製品に搭載されている無線LANは、Direct Sequence Spread Spectrum (DSSS) / Orthogonal Frequency Division Multiplexing (OFDM) 無線技術を使用する無線LAN製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Institute of Electrical and Electronics Engineers (米国電気電子技術者協会) 策定の IEEE802.11 Standard on Wireless LANs (Revision a/b/g/n) (無線LAN標準規格(版数 a/b/g/n))

#### ■Bluetooth

本製品に搭載されているBluetoothは、Frequency Hopping Spread Spectrum (FHSS) 無線技術を使用するBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Bluetooth Special Interest Group 策定の Bluetooth Specification Ver.4.0
- Bluetooth Special Interest Group の定義する Bluetooth ワイヤレステクノロジーの Logo 認証

#### メモ

- 本製品はすべてのBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。ご使用にあたっては、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器対応の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

また下記の取り扱い上の注意点があります。

- (1) Bluetooth Version 1.0B 仕様のBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器とは互換性はありません。
- (2) 2.4GHz帯の無線LANが近距離で使用されていると通信速度の低下または通信エラーが発生する可能性があります。
- (3) Bluetoothと無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

### 健康への影響

---

本製品に搭載されている無線LANおよびBluetoothは、ほかの無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルにおさえられています。

本製品に搭載されている無線LANおよびBluetoothの動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものと東芝では確信しております。この安全基準および勧告には、学会の共通見解と、多岐にわたる研究報告書を継続的に審査、検討している専門家の委員会による審議結果がまとめられています。

ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者が無線LANおよびBluetoothの使用を制限する場合があります。次にその例を示します。

- 飛行機の中で無線LANおよびBluetoothを用いた装置を使用する場合
- ほかの装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、無線通信機能をONにする前に、個々の組織または施設環境の管理者に対して、本製品の使用可否について確認してください。

### 規制に関する情報

---

本製品に搭載されている無線LANのインストールと使用に際しては、必ず製品付属の説明書に記載されている製造元の指示に従ってください。本製品は、無線周波基準と安全基準に準拠しています。

## Regulatory statements

### ● General

This product complies with any mandatory product specification in any Country/ Region where the product is sold. In addition, the product complies with the following.

### ● European Union (EU) and EFTA

This equipment complies with the R&TTE directive 1999/5/EC and has been provided with the CE mark accordingly.

### ● Canada - Industry Canada (IC)

This device complies with RSS 210 of Industry Canada.

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of this device.

L' utilisation de ce dispositif est autorisée seulement aux conditions suivantes : (1) il ne doit pas produire de brouillage et (2) l' utilisateur du dispositif doit être prêt à accepter tout brouillage radioélectrique reçu, même si ce brouillage est susceptible de compromettre le fonctionnement du dispositif.

The term "IC" before the equipment certification number only signifies that the Industry Canada technical specifications were met.

### ● USA - Federal Communications Commission (FCC)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy. If not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by tuning the equipment off and on, the user is encouraged to try and correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the distance between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment to outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

TOSHIBA is not responsible for any radio or television interference caused by unauthorized modification of the devices included with this Bluetooth Card from TOSHIBA, or the substitution or attachment of connecting cables and equipment other than specified by TOSHIBA.

The correction of interference caused by such unauthorized modification, substitution or attachment will be the responsibility of the user.

## Caution: Exposure to Radio Frequency Radiation.

### ■ Wireless LAN

The radiated output power of the Wireless LAN is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the Wireless LAN shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized.

In the usual operating configuration, the distance between the antenna and the user should not be less than 20cm. Please refer to the PC user's manual for the details regarding antenna location.

The installer of this radio equipment must ensure that the antenna is located or pointed such that it does not emit RF field in excess of Health Canada limits for the general population; consult Safety Code 6, obtainable from Health Canada's website

[www.hc-sc.gc.ca/](http://www.hc-sc.gc.ca/)

### ■ Bluetooth

The radiated output power of the Bluetooth Card from TOSHIBA is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the Bluetooth Card from TOSHIBA shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. The antenna(s) used in this device are located at the upper/lower edge of the LCD screen, and this device has been tested as portable device as defined in Section 2.1093 of FCC rules when the LCD screen is rotated 180 degree and covered the keyboard area. In addition, Bluetooth has been tested with Wireless LAN transceiver for co-location requirements. This device and its antenna(s) must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

The installer of this radio equipment must ensure that the antenna is located or pointed such that it does not emit RF field in excess of Health Canada limits for the general population; consult Safety Code 6, obtainable from Health Canada's website

[www.hc-sc.gc.ca/](http://www.hc-sc.gc.ca/)

### ● Taiwan

Article 12 Without permission granted by the NCC, any company, enterprise, or user is not allowed to change frequency, enhance transmitting power or alter original characteristic as well as performance to a approved low power radio-frequency devices.

Article 14 The low power radio-frequency devices shall not influence aircraft security and interfere legal communications; If found, the user shall cease operating immediately until no interference is achieved.

The said legal communications means radio communications is operated in compliance with the Telecommunications Act.

The low power radio-frequency devices must be susceptible with the interference from legal communications or ISM radio wave radiated devices.



## ● Europe

### ■ Wireless LAN

#### Restrictions for Use of 2.4GHz Frequencies in European Community Countries

België/ Belgique:	For private usage outside buildings across public grounds over less than 300m no special registration with IBPT/BIPT is required. Registration to IBPT/BIPT is required for private usage outside buildings across public grounds over more than 300m. For registration and license please contact IBPT/BIPT.  Voor privé-gebruik buiten gebouw over publieke grond over afstand kleiner dan 300m geen registratie bij BIPT/IBPT nodig; voor gebruik over afstand groter dan 300m is wel registratie bij BIPT/IBPT nodig. Voor registratie of licentie kunt u contact opnemen met BIPT.  Dans le cas d'une utilisation privée, à l'extérieur d'un bâtiment, au-dessus d'un espace public, aucun enregistrement n'est nécessaire pour une distance de moins de 300m. Pour une distance supérieure à 300m un enregistrement auprès de l'IBPT est requise. Pour les enregistrements et licences, veuillez contacter l'IBPT.
Deutschland:	License required for outdoor installations. Check with reseller for procedure to follow.  Anmeldung im Outdoor-Bereich notwendig, aber nicht genehmigungspflichtig. Bitte mit Händler die Vorgehensweise abstimmen.
France:	Restricted frequency band: only channels 1 to 7 (2400 MHz and 2454 MHz respectively) may be used outdoors in France.  Bande de fréquence restreinte : seuls les canaux 1-7 (2400 et 2454 MHz respectivement) doivent être utilisés endroits extérieur en France. Vous pouvez contacter l'Autorité de Régulation des Télécommunications ( <a href="http://www.art-telecom.fr">http://www.art-telecom.fr</a> ) pour la procédure à suivre.
Italia:	License required for indoor use. Use with outdoor installations not allowed.  E'necessaria la concessione ministeriale anche per l'uso interno.  Verificare con i rivenditori la procedura da seguire.
Nederland	License required for outdoor installations. Check with reseller for procedure to follow.  Licentie verplicht voor gebruik met buitenantennes. Neem contact op met verkoper voor juiste procedure.

To remain in conformance with European spectrum usage laws for Wireless LAN operation, the above 2.4GHz channel limitations apply for outdoor usage. The user should use the Wireless LAN utility to check the current channel of operation. If operation is occurring outside of the allowable frequencies for outdoor use, as listed above, the user must contact the applicable national spectrum regulator to request a license for outdoor operation.

### 8 使用できる国／地域について

海外で無線通信機能を使用する場合は、使用される国／地域の無線規格を取得している必要があります。

無線規格を取得している国／地域に関する情報は、「[dynabook.com](http://dynabook.com)」をご覧ください。

**参照**▶ 「[dynabook.com](http://dynabook.com)」について『東芝PCサポートのご案内』

また、無線規格を取得していない国／地域では、パソコン本体の無線通信機能をOFFにしてください。

**参照**▶ 無線通信機能のOFFについて「1章 **6** - **1** 電源を切る」の警告



# リカバリーチェックシート

パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）前に、本ページをコピーするなどして、次の項目を順番にチェックしながら実行してください。本ページに記載されている各チェック項目の詳細は、「3章 買ったときの状態に戻すには」で説明しています。

## 1 パソコンを初期状態に戻す前に確認すること

- ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
- 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認してみる
- 「4章 困ったときは」や『オンラインマニュアル』をご覧ください、ほかのトラブル解消方法を探してみる
- システムの復元で以前の状態に復元する

## 2 パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと

- ①準備するもの
  - 『取扱説明書』（本書）
  - このリカバリーチェックシートをコピーしたもの
  - リカバリーメディア（作成したリカバリーメディアからリカバリーする場合）
- ②必要なデータのバックアップをとる  
バックアップをとることができる場合は、とっておいてください。リカバリーをすると、購入後に作成したデータはすべて消失します。
  - [ドキュメント]（または[マイ ドキュメント]）、[ピクチャー]（または[マイ ピクチャー]）などのデータ
  - 購入後にデスクトップに保存したデータ
  - Microsoft Internet Explorerの[お気に入り]のデータ
  - メール送受信データ  メールアドレス帳
  - プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
  - 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
  - 購入後に作成したフォルダーやファイル
- ③アプリケーションのセットアップ用のメディアを確認する  
購入後にインストールしたアプリケーションなどは、リカバリー後にインストールする必要があります。リカバリーした直後は、お客様がインストールしたソフトなどは復元されません。ご購入されたメディアなどから再度インストールしてください。
- ④各種設定を確認する
- ⑤無線通信機能がONであるか確認する
- ⑥周辺機器をすべて取りはずす

## 3 パソコンを初期状態に戻す流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

- ①リカバリー
- ②周辺機器（マウス・プリンターなど）を取り付けて、設定する
- ③インターネットやメールの設定
- ④ウイルスチェックソフトの設定と更新
- ⑤Windows Update
- ⑥アプリケーションのインストール
- ⑦データの復元